

事務事業及び予算の執行実績
(令和5年度分「一部、令和6年度分を含む」)

静岡県立中央図書館

目 次

1 事務事業に関すること	
事務事業の概要	1
事業の根拠法令調	4 3
2 職員に関すること	
職員調	4 4
職員の年齢調	4 5
健康管理	4 5
職員配置調	4 6
3 予算の総括に関すること	
預金調	4 7
郵券等受払調	4 8
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	4 9
4 補助金等に関すること	
委託料に関する調	5 1
負担金支出調	5 7
5 工事に関すること	
建築工事調	5 9
6 財産に関すること	
公有財産調	6 1
借地借家等調	6 3
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	6 4
行政財産貸付・使用許可調	6 6
備品・図書調	6 8
主要備品調	7 0

事務事業の概要

1 概況

(1) 沿革

大正10年11月17日	徳川家の記念事業として渋沢栄一氏等の寄附を得て、県立図書館設立を県会に提案、議決。設立費17万円（大正13年10月竣工）
大正13年10月30日	貞松修蔵初代館長就任。開館準備事務を開始
大正14年4月1日	「静岡県立葵文庫」開館（蔵書約22,000冊、職員16人）
昭和3年11月3日	徳川頼貞氏、駿河版『群書治要』47冊を寄贈
昭和4年6月	山梨稲川百年祭記念事業として、『山梨稲川集』全4冊を刊行
昭和5年5月28日	昭和天皇陛下本県御巡幸第1日、県立葵文庫に行幸、稀覯書等を天覧
昭和8年11月1日	10周年記念式典を挙行
昭和20年6月20日	戦災により、講堂及び付属木造箇所を焼失
昭和25年12月	「県視聴覚ライブラリー」を県立葵文庫内に設置
昭和28年4月1日	「日米文化センター」が県立葵文庫に併置される
昭和31年11月1日	図書館法に基づき「静岡県立中央図書館葵文庫」と名称変更
昭和36年4月	自動車文庫「あおい号」誕生、「茶の間のひととき読書」運動開始
昭和42年4月	「日米文化センター」が静岡県日米協会に移管される
昭和42年12月26日	文化センター基本計画に基づき、新図書館建築着工
昭和44年3月18日	新図書館完工
昭和44年6月30日	県立中央図書館葵文庫を閉館、新館移転作業を開始
昭和44年7月12日	「静岡県文化センター設置条例」が制定され、「静岡県立中央図書館」と名称変更
昭和44年8月1日	新館に移転を完了、開館準備事務を開始。「静岡県文化センターの組織及び運営に関する規則」を制定
昭和45年3月20日	「静岡県立中央図書館協議会条例」及び「静岡県文化センター使用料条例」を制定
昭和45年4月18日	県文化センター開所、県立中央図書館開館式。20日から一般公開
昭和50年11月10日	50周年を記念して『50年のあゆみ』を刊行
昭和60年4月1日	「静岡県視聴覚ライブラリー」設置を制定
昭和60年11月6日	県立中央図書館協議会が「今後の県立中央図書館の在り方」答申
昭和63年3月1日	「図書館利用規程」を改正し、市町村立図書館等への協力貸出を充実
平成6年3月29日	電算システムによる業務を開始し、「図書館等利用規程」を改正
平成10年4月1日	閉館時間を、毎金曜日に限って午後8時まで延長
平成11年3月13日	グランシップ情報ラウンジ・県立図書館コーナーを開設
平成11年4月1日	歴史文化情報センターが、県教育委員会文化課から移管される
平成12年4月1日	閉館時間を、毎水曜日、木曜日、金曜日について午後7時までに変更
平成14年1月1日	地震対策緊急整備工事・特別整理のため、県立中央図書館休館
平成14年2月18日	地震対策緊急整備工事着工。休館中の県民サービスとして、県女性総合センター「あざれあ」県立図書館コーナーを開設
平成14年5月31日	地震対策緊急整備工事完成
平成14年6月13日	県女性総合センター「あざれあ」県立図書館コーナーを閉館
平成14年8月1日	県立中央図書館業務を再開。葵文庫、久能文庫、特別取扱資料の一

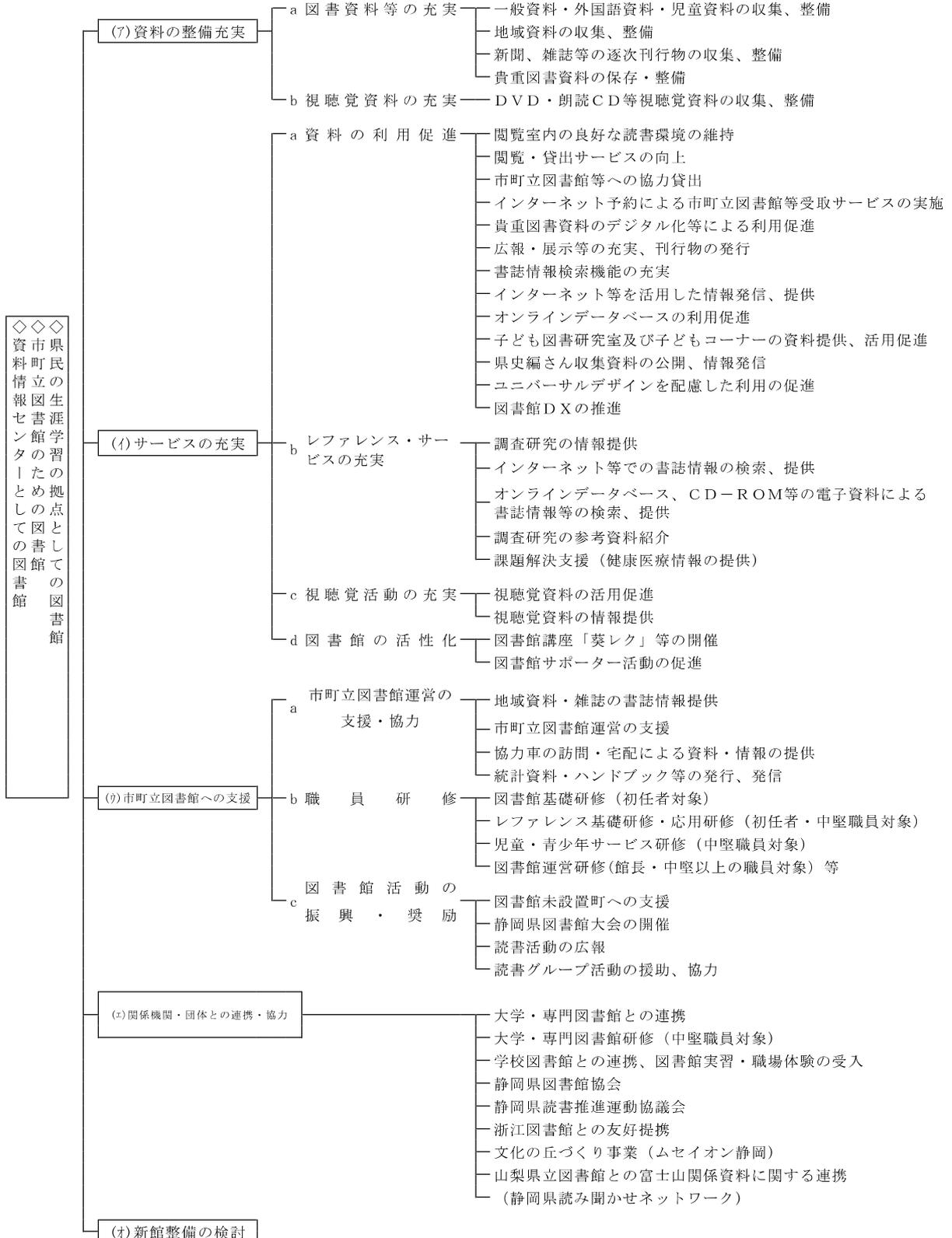
	部を静岡県総合教育センター内「あすなろ県立図書館収蔵庫」に移動。10月12日から同センター図書室で閲覧開始
平成15年4月1日	グランシップ内で情報ラウンジ・県立図書館コーナーが移転され、グランシップ県立図書館コーナーとして再開
平成15年7月2日	ビジネスコーナーを設置
平成15年11月27日	平成15年度第89回全国図書館大会静岡大会開催（～28日） 大会テーマ「創めよう！図書館の世紀～知・人・夢づくり～」
平成16年3月18日	新電算システムに移行し、「横断検索」等を開始
平成16年6月18日	子ども図書研究室を開設
平成17年4月1日	創立80周年記念事業を年間にわたり展開
平成17年9月1日	『「しずおか」の貴重書』刊行
平成19年10月26日	「静岡県立中央図書館と浙江図書館に関する姉妹図書館締結の意向書」を浙江図書館にて調印
平成21年2月24日	「静岡県立中央図書館と浙江図書館との友好提携書」を当館にて締結
平成21年3月11日	県立中央図書館、県立美術館、財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所、静岡県立大学の4機関による「文化の丘づくり事業推進に関する協定」を締結
平成21年7月1日	インフォメーション棟耐震補強工事のため休館、工事着工
平成21年9月25日	葵文庫、久能文庫、特別取扱資料の一部を静岡県総合教育センター内「あすなろ県立中央図書館収蔵庫」から県立中央図書館に移動翌月より月1回の葵文庫、久能文庫閲覧日を設定し閲覧開始
平成21年10月1日	耐震補強工事中一部開館。閲覧室の利用を再開
平成21年10月2日	『「しずおか」の貴重書（改訂版）』刊行
平成21年10月7日	国民文化祭協賛事業「江戸から明治へ 初代県知事関口隆吉としずおかの貴重書」展（会場：県立美術館）第1部を開催（～10月17日）
平成21年10月15日	『関口隆吉関係書簡集』発行
平成21年11月3日	国民文化祭協賛事業「江戸から明治へ 初代県知事関口隆吉としずおかの貴重書」展（会場：グランシップ）第2部を開催（～11月8日）
平成22年2月25日	インフォメーション棟耐震補強工事完成
平成22年3月31日	耐震補強工事関連作業及びシステム更新作業のため休館
平成22年5月1日	図書館電算システムの更新及び当館Webページの全面リニューアル。地域資料の書誌データが、個人利用者でもダウンロード可能に
平成22年6月1日	耐震補強工事及び関連作業と電算システム更新作業をすべて終え、リニューアルオープン。また、携帯電話からレファレンスの申込及び事例検索が可能。事前申込みにより葵文庫、久能文庫等の貴重書を本館で随時閲覧可能
平成22年6月	「国民読書年」関連イベントを実施（～12月）
平成22年9月1日	インターネットから「葵文庫」所蔵資料の約半数の全文が閲覧可能に
平成23年1月8日	貴重書常設展示コーナー設置
平成23年2月1日	国立国会図書館デジタルアーカイブポータル（PORTA）と連携、当館デジタルライブラリーがPORTAから検索可能に
平成23年5月	電子書籍関連プロジェクト実施（～11月）
平成23年7月9日	健康医療情報コーナーを新設

平成23年11月29日	平成23年度関東・甲信越静地区図書館地区別研修開催（～12月2日）
平成24年2月1日	閲覧室等空調設備工事、資料棟屋上防水工事、防火設備等改修工事、非常用照明設備工事、分電盤改修工事等大規模改修工事及び特別整理のため休館（～3月15日まで）
平成24年3月16日	閲覧室等空調設備工事等大規模改修完成、国立国会図書館歴史的音源サービスの提供開始
平成24年4月1日	子ども図書研究室の一部複本資料の個人貸出を開始
平成24年6月	図書館講座「葵レク」開始
平成25年3月28日	「葵文庫」所蔵資料の全ページ電子化・公開
平成25年4月	歴史文化情報センター「授業の種」公開
平成26年2月	富士山関係資料デジタルライブラリー公開
平成26年7月	国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの館内での利用を開始
平成27年4月1日	創立90周年記念事業を年間にわたり展開
平成27年6月2日	山梨県立図書館と「富士山関係資料に関する連携協定」を締結
平成27年8月	静岡県に関する行政資料の電子データ収集、デジタルライブラリーで公開
平成28年2月	閲覧室に公衆無線LAN設備導入
平成28年4月	祝日開館開始
平成28年6月	「インターネット予約による市町立図書館等受取サービス」本格導入
平成29年7月4日	閲覧室床にひび割れが確認されたことによる臨時休館（～7月31日）8月1日以降「閲覧室の利用」以外の業務を順次再開
平成30年3月	「新県立中央図書館基本構想」策定
平成30年4月1日	「静岡県文化センターの組織及び運営に関する規則」を「静岡県文化センター運営に関する規則」に改正
平成30年5月7日	旧埋蔵文化財センター建物を分掌替により所管
平成31年2月15日	閲覧室床ひび割れ補修工事完了
平成31年3月14日	閲覧室の利用を再開
平成31年3月	「新県立中央図書館基本計画」策定
令和元年10月12日	台風19号接近に伴う臨時休館
令和2年3月	「新県立中央図書館管理運営計画」策定
令和2年4月18日	新型コロナウイルス感染防止対策のため臨時休館（～5/11）（4/18～4/27はシステム更新による休館）
令和2年8月	「新県立中央図書館基本計画」改訂
令和2年9月7日	グランシップ県立図書館コーナー「えほんのひろば」閉室
令和2年10月1日	子どもコーナー「どんぐりひろば」開設
令和3年3月	「新県立中央図書館整備計画」策定
令和3年9月	「新県立中央図書館整備計画」「新県立中央図書館管理運営計画」更新
令和3年10月1日	電子図書館サービス開始
令和4年9月	「新県立中央図書館システム基本構想」策定
令和6年4月2日	歴史文化情報センターが本館にて業務開始
令和7年4月1日	創立100周年記念事業を年間にわたり展開

(3) 令和6年度静岡県立中央図書館事業体系

ア 基本方針

県立中央図書館は、「県民の生涯学習の拠点としての図書館、市町立図書館のための図書館及び資料情報センターとしての図書館」として、県民の教育及び文化の向上に寄与する。



イ 事業の目的、活動指標

(ア) 事業の目的

「県立中央図書館は、『資料情報センターとしての図書館、県民の生涯学習の拠点としての図書館、市町立図書館のための図書館』として、県民の教育及び文化の向上に寄与する」を基本方針に、図書館サービスの向上に努めている。

(イ) 指標（静岡県教育振興基本計画 2022年度～2025年度）

総合計画	指標	指標名	現状値	目標値	2021年度		2022年度		2023年度	
					実績	達成率	実績	達成率	実績	達成率
○	成果	県内公立図書館の県民1人あたり年間貸出数	(2020年度) 5.1点	(2025年度) 6点	5.7点	95.0%	5.5点	91.7%	5.3点	88.3%
○	活動	県民の公立図書館利用登録率	(2020年度) 49.3%	(2025年度) 52%	49.2%	94.6%	49.8%	95.8%	50.5%	97.1%
	活動	県立中央図書館等が所蔵する貴重書・地域資料をデジタル化したふじのくにアーカイブの提供資料数	(2020年度) 15,470点	(2025年度) 17,500点	15,703点	89.7%	17,041点	97.4%	17,857点	102.0%
	活動	県立中央図書館の図書等をインターネット予約により市町立図書館等で受領するサービス利用者数	(2020年度) 1,953人	(毎年度) 2,100人	2,905人	138.3%	3,005人	143.1%	3,078人	146.6%

<評価（課題等）及び改善>

県民の公立図書館利用登録率は増加しているが、県民1人あたりの年間貸出数は減少している。これは新型コロナウイルス感染症に係る活動自粛の緩和により、県民の図書館利用が戻ってきた一方で、読書以外のレジャー・イベントが再開されたこと等の影響を受けて、全般的に貸出数が減少傾向を呈した可能性が考えられる。

図書館利用促進のため、引き続き県民への図書館サービス向上に繋がる資料収集やレファレンス、県内図書館員の研修等を推進していく。

ウ 令和5・6年度の主な事業の「目的、計画及び実績（成果）」及び「評価（課題等）及び改善」

(7) 資料の整備充実

<目的・計画>

調査研究の機能を遂行するために各分野にわたる資料収集・整備を行うとともに、あわせて市町立図書館等への支援・協力のための資料を収集・整備をし、資料の充実を図る。

<実績（成果）>

当館の蔵書構成や収集基準を考慮しながら、資料収集・整備を行った。また、市町立図書館等への支援・協力を念頭においた資料の充実も図った。

○ 図書資料

年度末所蔵数

(単位：冊)

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一 般 図 書	592,520	602,680	613,665
児 童 資 料	116,630	127,756	135,491
地 域 資 料	155,611	161,525	166,087
外 国 語 資 料	12,574	12,787	12,921
旧 分 類 資 料	40,677	40,677	40,678
特別集書(葵文庫等)	6,266	6,266	6,266
合 計	924,278	951,691	975,108

年度内受入数の内訳

(単位：冊)

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
購 入	15,803	21,149	19,924
寄贈等	3,028	6,483	4,742
受入計	18,831	27,632	24,666
除 籍	158	219	1,249
増減合計	18,673	27,413	23,417

※除籍した内容は、閲覧不能や所在不明の資料等である。

○ 新聞・雑誌 (年度末所蔵数)

(単位：タイトル)

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度
雑 誌	総タイトル数	9,829	9,887	9,930
	うち継続受入 タイトル数	1,826	1,708	1,792
新 聞	総タイトル数	53	53	53
	うち継続受入 タイトル数	42	41	41

※雑誌タイトル数は改題雑誌を含む。

○ 視聴覚資料等

年度末所蔵数

(単位：点)

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度
視聴覚資料	ビデオテープ	1,819	1,816	1,816
	DVD	2,177	2,297	2,427
	朗読CD	382	396	405
	カセットテープ	0	0	2
電子資料	一般・児童	211	233	237
	新聞雑誌	596	632	655
	地域資料	702	741	741
	貴重書	317	335	353
合 計		6,204	6,450	6,636

年度内受入数の内訳

(単位：冊)

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
購 入	108	130	142
寄贈等	68	125	44
受入計	176	255	186
除 籍	2	9	0
増減合計	174	246	186

※除籍した内容は、閲覧不能や所在不明の資料等である。

<評価（課題等）及び改善>

(令和5年度)

資料費は4年度並みの予算が確保でき、専門書を中心に全分野を網羅的かつ積極的に必要とする資料を購入し、資料の充実を図った。また、市町立図書館との分担収集を意識しつつ、市町立図書館から寄せられた、専門資料の購入リクエストには、可能な限り対応した(91.5%)。

児童資料は、調査研究用の全点資料購入を継続するとともに、子どもコーナーのための貸出用資料についても必要な資料を購入することができた。

また、新図書館で児童サービスを行うための資料についても購入を始めた。

地域資料は、新刊本や例年購入している県内古書店だけでなく、「日本の古本屋」のウェブサイトでも県内外の新規古書店を開拓した。引き続き、静岡県に関する資料の網羅的収集・整理に努める。

(令和6年度)

資料費は5年度並みの予算が確保でき、専門書を中心に全分野を網羅的かつ積極的に必要とする資料を購入し、資料の充実を図った。また、市町立図書館との分担収集を意識しつつ、市町立図書館から寄せられた、専門資料の購入リクエストには、可能な限り対応した(89.1%)。

児童資料は、調査研究用の全点資料購入を継続するとともに、子どもコーナーのための貸出用資料についても必要な資料を購入することができた。

また、新図書館で児童サービスを行うための資料についても引き続き購入を進めるとともに、新たに、新図書館で行うティーンズサービス、ユニバーサルサービスのための資料の購入を始めた。

地域資料は、新刊本や例年購入している県内古書店だけでなく、「日本の古本屋」のウェブサイトにて県内外の新規古書店を開拓した。引き続き、静岡県に関する資料の網羅的収集・整理に努める。

(イ) サービスの充実

a 資料の利用促進

(a) 閲覧・貸出、市町立図書館等への協力貸出、インターネット予約による市町立図書館等受取サービス

- ・協力貸出（県立中央図書館資料を県内市町立図書館等を通じて行う貸出サービス）
- ・インターネット予約による市町立図書館等受取サービス（個人がインターネットで県立中央図書館資料を予約し、県内市町立図書館等で受取るサービス）

<目的・計画>

当館が県域全体で多くの県民に活用されるよう、市町立図書館等とのさらなる連携に努めるとともに、今後も県域サービスの充実を目指す。

<実績（成果）>

○ 資料利用状況

【本館】

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開館日数（日）	308	307	304
入館者数（人）	148,894	152,009	155,892
一日平均（人）	483	495	513
新規登録者数（人）	3,208	4,565	2,586
貸出人数（人）	21,791	21,497	21,018
貸出数（冊・点）	114,253	111,758	109,546

○ 特別取扱資料の閲覧・利用状況

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数（人）	26	37	28
利用資料数（点）	218	174	203

○ 協力貸出状況

（単位：冊・点）

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市立図書館	5,149	4,933	4,600
町立図書館	720	645	551
大学・専門図書館	618	480	577
合計	6,487	6,058	5,728

○ インターネット予約による市町立図書館等受取サービスの状況

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受取館数	18	20	20
利用者数(人)	3,005	3,078	3,009
利用資料数(冊・点)	10,699	11,250	11,023

<評価(課題等)及び改善>

(令和5年度)

5年度は、コロナ禍前にもどし開館しているが、入館者、貸出冊数等はほぼ横這いである。新規登録者数の伸びは、電子図書館を利用するための高等学校によるクラス単位・学年単位での登録が増えたためである。非来館型利用のインターネット予約による市町立図書館等受取サービスの利用数についても4年度とほぼ同数で利用者にサービスが定着してきている。

協力貸出については、市町立図書館等受取サービスの増加に伴い減少が予想されたが、利用は4年度と同様ほぼ横這いである。今後も県内市町立図書館等と連携して多くの県民に利用してもらえるようサービスの充実に努めていく。

(令和6年度)

6年度は、5年度と同様、入館者、貸出冊数等はほぼ横這いである。非来館型のインターネット予約による市町立図書館等受取サービスの利用数についても、5年度とほぼ同数で利用者にサービスが定着してきている。

協力貸出については、市町立図書館等受取サービスの増加に伴い減少が予想されたが、利用は5年度と同様ほぼ横這いである。今後も県内市町立図書館等と連携して多くの県民に利用してもらえるようサービスの充実に努めていく。

(b) 貴重資料の展示やデジタル化等

<目的・計画>

未来の県民のために貴重資料の修復と保存のためのデジタル化に取り組み、それら資料の利活用に努める。

<実績(成果)>

①貴重資料の展示

貴重資料の常設展示コーナーを設置し、所蔵する貴重資料を毎月入れ替えて展示した。内容紹介パネルに工夫を凝らし、解説のパンフレット及び関連図書も配架した。

○令和6年度貴重資料展示

実施日	企画名	展示資料
4月	採撰亭版	『稲川詩草』『駿河府志』『西河折妄』他
5月	新茶の季節	『茶業必要』『茶業改良法』『皇国製茶図会』
6月	明治の静岡の教科書	『日本地誌略』『小学読本』『静岡県誌』
7月～8月	芳年の武者絵	浮世絵『大日本名将鑑』『芳年武者無類』

9月	安政の東海地震	『地震出火ニ付町方へ御救済被下引続施米一件日記』他
10月	万留帳	『万留帳』 『七間町三丁目絵図』
11月	江戸の医学書	『医療正始』 『医方正伝』 『全体新論』
12月～1月	貴重書に見る日露関係	『仏露辞書』 『遭厄日本紀事』 『精校海国兵談』
2月	山岡鉄舟と静岡	『山岡鉄舟手記』 『静岡御役人附』 他
3月～4月	静岡県立葵文庫	『静岡県立葵文庫記念写真帖』 『芳名録』 他

②貴重資料のデジタル化等

貴重資料の保存と公開の両立のため、資料のデジタル（含むマイクロ）化を計画的に進め、画像を「ふじのくにアーカイブ」で公開している。最近のデジタル化並びに修繕の状況は以下のとおりである。

年度	事業	特別文庫資料ほか	地域資料
4年度	デジタル化		『大井家日記』 『駿河国駿東郡原宿渡辺家文書』のうち643点ほか1タイトル計650点
	修繕資料	葵文庫『Leitfaden zum Unterricht in der deutschen Sprache und Literatur』ほか8タイトル	『静岡県史』 『駿河国駿東郡原宿渡辺家文書』のうち11点計12点
5年度	デジタル化	久能文庫『萬國全圖』ほか再撮影計14タイトル	『富嶽百景』ほか再撮影35点および『駿河国雑誌』ほか1タイトル計58点
	修繕資料	葵文庫『De Geschiedenis van Oostelijken Noordelijk Europa』ほか13タイトル	『静岡市史編さん資料 御大名様御泊帳』7点『御年頭日記』ほか6タイトル計14点
6年度	デジタル化		『九十五年前の伊豆 絵図帳』 『渡辺家文書』10点ほか37タイトル計80点
	修繕資料	『群書治要』47点	『静岡市史編さん資料133 雑』 『[駿府呉服町御用留]』他13タイトル24点

<評価（課題等）及び改善>

（令和5年度）

①貴重資料の展示

新作の展示テーマとして「採撰亭版」の展示を行った。過去の展示を参考にしたものについても、紹介パネルや配布物、内容等を見直し、修正した上で実施した。

②貴重資料のデジタル化等

デジタル化については、有識者3名による貴重資料調査委員会を開催し、デジタル化計画を作成した。それに基づき、優先順位の高い地域貴重資料のデジタル化のほか、初期に

デジタル化したもので、特に画質が荒い絵図・地図について再撮影を行った。再撮影分については、必要に応じて現在デジタルアーカイブで公開されているデータと入替え作業を行った。

修繕については、一般貴重資料は4年度から劣化度調査に基づいた計画のとおり修繕を進めているが、4年度、5年度で劣化度ポイント6（最高ポイント）と5がついた資料の修繕が完了した。地域貴重資料についても4年度と同様、デジタル化候補の『静岡市史編さん資料 御大名様御泊帳』7点『御年頭日記』ほか6タイトル計14点の修繕を行った。さらに、新館移転及び保存状況改善を目的として4年度に作成した資料保存計画に基づき、貴重資料の保存容器の作成等を行った。

(令和6年度)

①貴重資料の展示

新作の展示テーマとして「山岡鉄舟と静岡」の展示を行った。過去の展示を参考にしたものについても、紹介パネルや配布物、内容等を見直し、修正した上で実施した。今後も年に一度は新作の展示を行い、当館の貴重資料の周知と活用に努める。

②貴重資料のデジタル化等

地域貴重資料のデジタル化を進めた。デジタル化計画に基づき、『九十五年前の伊豆絵図帳』『渡辺家文書』10点ほか37タイトル計80点のデジタル化を行った。

修繕については、一般貴重資料は『群書治要』47点の修繕を行った。地域貴重資料はデジタル化候補の『静岡市史編さん資料133雑』10点『駿府呉服町御用留』ほか14タイトル計24点の修繕を行った。

5年度に撮影したデータをデジタルアーカイブで公開した。再撮影したデータについては、既にデジタルアーカイブで公開されていたデータとの入れ替え作業を行った。

また、5年度に引き続き、新館移転及び保存状況改善のため貴重資料の保存容器の作成を行った。

(c) 刊行物の発行

<目的・計画>

静岡県立中央図書館だより『文化の丘』を年2回（9月、2月）発行。読者の幅を広げるため、県立大学や県立美術館と共に形成する文化ゾーンを想像する「文化の丘」の副題をつけて発行している。

当館の資料や機能、行事企画等を広く一般県民に紹介し、当館存在をPRするとともに、利用促進を図る。

<実績（成果）>

(令和5年度)

9月号では新県立中央図書館の設計に関する進捗状況を3ページに渡り掲載し、一般県民への周知の機会とした。2月号では、東アジア文化都市2023静岡県のイベントとして開催された「貴重書講座スペシャル」に関する記事のほか、静岡県の財産ともいえる当館所蔵の葵文庫等の貴重書紹介等動画が完成したことを伝える記事を併せて掲載し、7年4月に創立100周年を迎える当館の歴史とその役割をPRした。また、初開催した図書館コンサートについても掲載し、新県立中央図書館開館に向けての機運醸成及び若年層の利用者獲得に向け

た当館の新しい試みもPRした。

4面には従前から継続して市町立図書館が工夫を凝らした館内装飾を紹介するコーナーを設け、事例を共有する取組も行った。

(令和6年度)

9月号では6月に開催した子ども図書研究室講演会の様子を掲載し、当館の子ども図書研究室の存在をPRした。また、4月に当館に移転オープンした「歴史文化情報センター」の資料や書庫の様子を掲載し、利用促進に繋げた。4面はリニューアルして公式Xの過去の投稿を紹介し、当館の最新情報がわかるツールの周知を図った。

2月号は、7年4月に迎える創立100周年を記念して、当館の100年の歴史を分かりやすくまとめた。また、4面はムセイオン静岡の連携機関でもある静岡県立大学の学生広報大使が当館を取材した学生目線の記事を掲載し、若い世代への当館の周知の機会とした。

<評価(課題等)及び改善>

(令和5年度)

新県立中央図書館開館に向けて当館として一般県民にPRできた。また、当館の歴史や新しい試みを幅広い年齢層に周知できるよう、レイアウトを親しみやすいものにするこゝとにより効果的にPRできた。市町立図書館を紹介するコーナーの事例もコメントを挿入する工夫をした。

今後も当館をPRするための大切なツールとして、公式X等SNSによる広報と両輪となってバランス良く幅広い層に効果的なPRをしていく。

(令和6年度)

これまでも幅広い年齢層に向けたPRを心掛けていたが、6年度は4面のリニューアルが大きな変化となる。特に学生による紙面作りは創刊以来初めてのこゝとであり、新県立中央図書館開館に向け、若い世代への当館の周知について具体的なアクションをとることができた。また、2月号で創立100周年を見開きで特集したことにより、あらためて当館のあゆみをPRできた。こうした今まで用いていなかった手法を活用しながら、今後も当館をPRするための大切なツールとして、公式X等SNSによる広報と両輪となってバランス良く幅広い層に効果的なPRをしていく。

(d) インターネット等を活用した情報発信、提供

<目的・計画>

時代の流れを読み取り、適切な情報ツールを用いて、静岡県立中央図書館の事業及び魅力を内外に伝える。

<実績(成果)>

(令和5年度)

引き続き公式X及びYouTubeの安定的運用に努めた。東アジア文化都市2023静岡県の事業で制作した当館の歴史や貴重書を紹介する動画3本をYouTubeで一般公開し、当館の魅力を知ってもらうための情報発信に努めた。

(令和6年度)

公式Xは、定期的な投稿のみならず、イベントを紹介する連続投稿を行ったほか、当日の様子などを協働相手と協力しながら発信したことにより、当館の“いま”がわかるツールとしての運用に努めた。

<評価(課題等)及び改善>

(令和5年度)

公式Xでは、投稿する際、どうすれば当館の魅力を伝えることができるかを考慮しながら、当館が実施する講座・講演会や展示等について積極的に投稿した。これらの告知に際しては協働相手や講師と協力しながら発信したことにより、シナジー効果が得られた。

企業との協働イベントや初開催のイベントの告知ポスト(公式X)では、インプレッション数(Xで当該ポストが表示された回数)が3,000から1万近くになるなど注目度を高めることができたほか、動画のインプレッション数が多いこともわかった。特に新県立中央図書館の概要紹介に関するポストはインプレッション数が15万に達するだけでなく、エンゲージメントも8,000を超えるなど、多くの反響があった。

今後も時代に即した情報ツールを活用して、積極的な情報の発信と提供を行う。

(令和6年度)

5年度に引き続き、公式Xでは、当館が実施する講座・講演会や展示等について積極的に投稿し、協働相手や講師と協力しながら発信したことにより、シナジー効果が得られた。大学生との協働事業では、学生主体のInstagramからの発信に繋ぐことができた。今後も時代に即した情報ツールを活用して、幅広い世代に向けて積極的な情報の発信と提供を行う。

(e) 子ども読書活動の推進

<目的・計画>

「子どもの読書活動の推進に関する法律」、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」、「静岡県子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動推進のために市町図書館（室）や児童書研究者等への支援充実を目指す。

<実績（成果）>

①子どもコーナー「どんぐりひろば」開設（令和2年10月1日）

グランシップ天井耐震補強工事休館に伴い、グランシップ県立図書館コーナー「えほんのひろば」を閉室し、県立中央図書館子どもコーナー「どんぐりひろば」を開設した。

配架資料：読みもの 約2,000冊、絵本 約6,000冊、知識の本 約1,000冊

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入室者（人）	8,157	8,569	8,619
新規登録者数（人）	191	197	156
貸出人数（人）	2,246	2,225	1,980
貸出数（冊・点）	17,060	15,929	14,362

②「子ども図書研究室講演会」実施

子どもと本を結びつける活動をしている人たちを支援するために、学校図書館関係者、公立図書館職員、教員、ボランティア等から一般県民までを対象として、講演会を実施している。

6年度は翻訳家の三辺律子氏を講師に迎え、「日本の読者に届けたい翻訳文学」と題して、海外における児童文学・YA文学の歴史から、1990年代以降のトレンドジャンル、社会が抱える問題とYA文学、若者視点から見る世界などの海外の児童・YA文学作品の紹介やこれまで翻訳されてきた作品の裏話などについて講演していただいた。参加者の人数制限なく、集合形式で開催し、著作権の権利処理をして動画配信を行った。

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開催日	7月5日(火) 7月26日(火)～9月2日(金)	7月2日(日)	6月30日(日) 7月30日(火)～9月6日(金)
会場	講堂・動画配信	講堂	講堂・動画配信
講師	今井 むつみ	寺久保 未園	三辺 律子
参加人数	95人	94人	67人
再生回数	466回	—	105回
内容	言葉の発達、思考の発達を助ける絵本読みと読書	絵本作りの過程で教わったこと	日本の読者に届けたい翻訳文学

③「新刊児童図書巡回展示研修会」実施

「静岡県子ども読書活動推進計画（第三次計画）」に基づき、県内市町立図書館及び学校図書館の選書業務を支援し、児童資料の充実や職員の資質向上を図るため研修会を実施している。当館が全点購入している新刊児童図書のうち約1,000冊を現物展示するとともに、選書に関する研修を行い、併せて各館の選書の相談にも応じた。

区分	令和4年度		令和5年度		令和6年度
開催日	10/28	11/2	8/24	8/30	9/19
会場	沼津市	県立中央	掛川市	県立中央	沼津市
参加人数(人)	20	39	45	49	18

④「新刊図書紹介」（旧「新刊サロン」）実施

子どもの読書活動関係者に情報交換、交流の場を提供する目的で、平成24年度から開催している。職員が新刊児童書の紹介をし、参加者が自由に語り合う形で情報交換をする。

5年度は、内容を職員の選定図書紹介と参加者同士の情報交換として、集合形式2回と動画配信を行った。6年度は、「新刊図書紹介」と名称を改め、職員の選定図書紹介と参加者同士の情報交換を参加人数の制限なく集合形式により開催し、動画配信も行った。

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
回数(回)	4 (全5回)	2 (全2回)	2 (全2回)
延べ参加人数(人)	16人(2～4回)	19人	23人
再生回数	2,001回	548回	698回

⑤子ども図書研究室講師派遣

平成30年度に試行的に実施し、翌令和元年度から新規事業として開始した。県内市町立図書館及び学校図書館等における児童資料の充実や選書に携わる担当者の資質向上を図ることを趣旨とし、図書館や教育委員会で主催する児童資料に関する研修に、当館職員を講師として派遣しており、6年度は3団体を対象に実施した。

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
回数(回)	5	5	3
延べ参加人数(人)	146	143	48

このほかに、毎年私立幼稚園と公立幼稚園の新任者に対する読み聞かせ入門の講師も行なっている。また、6年度は、3団体とは別に浜松学院高等学校と藤枝特別支援学校焼津分校の生徒に対して読み聞かせ入門を実施した。

⑥「子ども図書研究室だより」発行

子ども図書研究室の活動を周知するとともに、県内外の子どもの読書推進に関わる情報を発信することを目的に、5年度は年2回、6年度は年1回広報紙を発行し、107号まで発行している。

⑦「おはなしかい」実施

子どもコーナー「どんぐりひろば」で、手遊び、わらべうたなどを含む絵本の読み聞かせを定期的に行っている。週2回、職員が実施し、週1回と第1・第3日曜日各1回を当館読み聞かせサポーター（ボランティア）が実施している。また、サポーターによる「おはなしかいスペシャル」は不定期で実施している。

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
回数(回)	135	144	146
延べ参加人数(人)	887	1,047	873

⑧その他の事業

5年度は、県立美術館及び県民サービスセンターから、おはなしかいの要請があった。県立美術館では企画展「糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。」との連携で刺繍で描かれた絵本の読み聞かせをメインにしたおはなしかいを行い、県民サービスセンターでは、東アジア文化都市2023に関連して韓国・中国・日本の絵本のおはなしかいを実施した。

開催場所	県立美術館	県民サービスセンター
日時	8月12日(土) 午前・午後 2回開催	11月24日(金) 午後
参加者	AM:13人 PM:23人 合計:36人	4組8人
連携	糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。	東アジア文化都市2023
内容	刺繍で絵が描かれた絵本の読み聞かせ	韓国・中国・日本のおはなしの絵本の読み聞かせ

⑨新刊児童図書巡回貸出事業

6年度は、子ども図書研究室で全点購入している新刊児童図書をより広く有効活用するとともに、県内市町立図書館及び学校図書館職員のレベルアップ、県全体の児童サービスの向上を目指す目的で「新刊児童図書巡回貸出事業」の試行を行った。

区分	内容
実施期間	7月10日(水) から7月31日(水) まで
協力館	袋井市立袋井図書館
貸出資料	概ね2024年1月から3月に出版された児童書324冊
利用者	70人

<評価(課題等)及び改善>

(令和5年度)

「子ども図書研究室講演会」や「新刊サロン」等、人数制限は行わず集合形式で実施することができた。参加人数の制限は行わなかったが、「新刊サロン」の動画配信を実施し、好評であった。

子ども図書研究室の団体利用について人数制限をなくしたため、団体利用が増加した。

5年度は、グランシップの冬の企画がなかったためグランシップとの連携はなかったが、新たに県立美術館や県民サービスセンターとの連携して事業を行うことができた。

(令和6年度)

「子ども図書研究室講演会」や「新刊図書紹介(旧「新刊サロン」)」等、集合形式で実施することができた。「子ども図書研究室講演会」、「新刊図書紹介」とも動画配信を実施し、好評であった。

6年度は、外部団体との連携はなかったが、今後も新館を見据えて他団体等との連携を模索していく。「新刊児童図書巡回展示研修会」「新刊図書紹介(旧「新刊サロン」)」「子ども図書研究室講師派遣」「子ども図書研究室だより」は業務改善のため回数を減らして実施、発行した。新たな事業として「新刊児童図書巡回貸出」の試行を行った。

(f) 県史編さん収集資料の整理、公開、情報発信

<目的・計画>

静岡県史編さん事業の過程で集められた県内外の古文書等の複製資料や明治以降の県内新聞各紙などを提供している。これによって、県民の地域の歴史に対する興味関心の喚起と調査研究支援に努める。

<実績（成果）>

第二次静岡県史編さんにより収集した資料（約16万点）を保存・整理・公開し、併せて県内の歴史・民俗に関する問い合わせにも対応した。収集資料を学校の教材用に編集する「授業の種」公開のため、テーマを設定して資料を選定した。

① 県史編さん収集資料の保存・整理・公開

- ・マイクロフィルムの保存作業
- ・資料目録の修正・追加・作成
- ・資料原所蔵者への公開許可申請作業
- ・資料目録検索システムでの情報公開

② 歴史文化情報の活用・発信

- ・来館・電話・FAX・メールによるレファレンスサービス
- ・閉架書庫資料・所蔵写真等の貸出
- ・市町村史編さん事業への支援
- ・資料紹介のインターネット公開

○ 歴史文化センター利用状況

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開館日数（日）	239	124	
入室者数（人）	176	111	
資料利用件数（件）	178	143	189
レファレンス（件）	143	66	79
資料掲載許可数（点）	34	36	44

※令和5年11月1日～令和6年3月31日 移転のため休館

令和6年4月2日～ 本館にてサービス再開

<評価（課題等）及び改善>

（令和5年度）

コロナ禍の影響により来館を控えていた利用者が戻ってきた。県外からの問い合わせが多く、大学の研究者が何度か来館し、大量の資料を利用した。5年度は引越移転の作業のため、11月1日から休館となったが、年度初めからのアナウンスにより、休館直前の混乱はなかった。6年4月2日の業務再開時に向けて出納がより円滑にできるよう、準備を進めた。

（令和6年度）

6年4月2日より、本館にてサービスを再開した。再開に伴い、これまで平日のみであった資料の閲覧を土日祝日もできるようサービスを拡充し、利用者の利便を図った（要事前予

約)。本館への移転やサービス内容の変更についてリーフレットを作成し、関係各所へ送付すること等で周知を図った。今後も、新館でのサービスを見据え、所蔵資料の魅力を発信するとともに、より一層の周知を行う。

(g) 健康医療情報サービスの推進

<目的・計画>

県民に向けて健康医療情報の発信と資料の提供を行うことにより、健康医療に関する課題解決を支援する。

<実績（成果）>

主管課を調査課として課を横断したメンバーで構成した「健康医療情報サービス委員会」で取り組んだ。

①健康医療情報コーナー

辞書や事典などの参考図書、ヘルスリテラシー関連資料、入門書・図解シリーズ、健康医療情報関係雑誌を配架したコーナーの維持管理を行ったほか、2か月ごとの特集展示を行った。

○令和6年度特集展示

月	テーマタイトル	月	テーマタイトル
4月～5月	メンタルヘルス	10月～11月	感染症と免疫
6月～7月	依存症・アディクション	12月～2月	目の健康
8月～9月	夏の健康管理	3月～5月	認知症

②オンラインデータベースによる情報提供

医中誌Web、ヨミドクター、JDreamⅢの3種類の健康医療情報関連のオンラインデータベースを導入し、館内のデジタル資料検索パソコンで提供したほか、健康医療情報に関するレファレンスサービスで使用した。

③健康医療情報講演会

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開催日	2月18日(土)	2月25日(日)	2月8日(土)
内容	応急手当を学ぶ：緊急時における救急救命対応方法	歯周病の予防と治療：ふじのくにの健康長寿にもつながる	アイフレイルとは？：人生100年の時代に視力を失わないために気を付けること
講師	駿河区消防署職員	静岡県立大学短期大学部 歯科衛生学科教授 吉田直樹	静岡県眼科医会会長 高良 眼科医院院長 高良俊武
参加人数	18人	26人	43人

④出張図書館

健康医療情報に関連するイベントの会場に出向いて、当館所蔵資料（主に医療情報）の展示、利用者登録、貸出等を行った。

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開催日	10月21日(金)	11月18日(土)	10月26日(土)
会場	グランシップ	静岡県立大学	静岡県立大学
イベント名称	第27回静岡健康・長寿学術フォーラム	生涯健康サイエンスフェス in 静岡県立大学2023	生涯健康サイエンスフェス in 静岡県立大学2024

⑤まちの保健室

静岡県看護協会と連携して、同協会が実施している健康相談会を当館で開催するとともに、当館の健康・医療関係資料の展示・貸出しを行った。

- 令和5年11月11日(土) 午前10時～正午
会場：当館インフォメーションホール 相談：9人
- 令和6年7月24日(水) 午前10時～正午
会場：当館インフォメーションホール 相談：18人

<評価（課題等）及び改善>

(令和5年度)

健康医療情報コーナー及びがん情報コーナーによる資料・情報提供を継続的に行ったほか、2か月ごとに特集展示を行い、関連資料の配架と貸出を行った。特集展示は、10月から利用者の目に付きやすい位置にブックトラックで展示する形にしたことで、貸出冊数が増加した。今後もテーマ選びを工夫するなどして貸出冊数の増加を図る。

イベントについては、「まちの保健室」、「出張図書館」及び「健康医療情報講演会」を開催し、関係資料の展示・貸出、健康医療情報サービスの広報を行った。「まちの保健室」では静岡県看護協会、出張図書館では静岡県立大学と連携して実施しており、連携実績としての開催意義もあるので、今後も継続して行っていく。健康医療情報講演会は集合形式で2月に実施し、好評であった。

オンラインデータベースについては、オンラインデータベース活用講座で健康医療情報関係のオンラインデータベースを取り上げ、利用促進を図った。

(令和6年度)

展示場所等の改善により5年度貸出冊数が増加した特集展示は、6年度さらに貸出冊数が

増加した。貸出冊数の増加傾向は一時的なものと思われるので、今後はテーマ選びを工夫するなどして、貸出冊数を維持しながら、提供する資料や情報の質の向上に努める。

イベントについては、「まちの保健室」、「出張図書館」及び「健康医療情報講演会」を開催し、関係資料の展示・貸出、健康医療情報サービスの広報を行った。まちの保健室では静岡県看護協会、出張図書館では静岡県立大学と連携して実施しており、連携実績としての開催意義もあるので、今後も継続して行っていく。「健康医療情報講演会」は、6年度は静岡県眼科医会の後援を受けて開催し、アンケート回答も好評だったが、7年度以降については新館整備に向けた業務精選等の観点から見直しを行う。

(h) 障害者サービスの推進

<目的・計画>

新館における障害者サービスに備えながら、図書館の利用や読書活動に障害のある県民に対して、資料・環境の整備及びサービスの提供を行う。

<実績>

①資料・環境の整備

- ・大活字本の収集と提供
- ・朗読・講演CDの収集と提供
- ・拡大読書器、拡大鏡、ルーペ、老眼鏡の提供
- ・読むべえ（音声拡大読書器（DAISY資料も閲覧可））の提供
- ・筆談道具や簡易的磁気ループシステムによる対応
- ・リーディングトラッカー（読書補助具）の提供
- ・障害者用駐車場の提供
- ・貸出し用車椅子、車椅子利用席の提供
- ・多目的トイレの提供
- ・点字ブロック、エレベータ、スロープの設置

○新館用資料の購入状況

区分	令和6年度
大活字本	1,014冊

②サービスの提供

- ・障害者利用登録
- ・郵送貸出サービス
- ・サピエ図書館の個人会員となるための利用登録

○障害者サービスの実施状況

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
郵送貸出(冊)	37	17	17
利用登録者数(人)	7	10(うち新規3)	13(うち新規3)
サピエ図書館登録(人)	1	3(うち新規2)	5(うち新規2)

＜評価（課題等）及び改善＞

（令和5年度）

資料・環境の整備については、「読書バリアフリーの理論と実践～公立図書館に求められる環境づくりとサービス～」のテーマで外部講師を招いて館内職員研修を行い、職員の資質向上を図ったほか、新館用として購入するユニバーサルサービス用資料の下調べを行い、6年度から始まる資料購入に備えた。

サービスの提供については、新たに3人の障害者利用登録と2人のサピエ図書館登録、6件17冊の郵送貸出サービスの利用があった。今後の課題としては、予算立てをせずに実施している郵送貸出サービスについて、サービスの対象や内容等を明確にして事業として実施する形にしていく。

（令和6年度）

新館用の資料購入では、大活字本を1,014冊購入した。7年度は、大活字本のほかDAISY資料など冊子体ではない資料も購入する予定のため、装備などに注意しながら行う。

サービスの提供については、6年度は新たに3人の障害者利用登録と2人のサピエ図書館登録、9件17冊の郵送貸出サービスの利用があった。7年度からは郵送貸出サービスの送付手段を見直す予定であり、丁寧な説明を行い利用者の理解を得ながら進める。

(i) 県立図書館DX

＜目的・計画＞

図書館が提供するサービスは多岐にわたるが、県民に直接的なメリットが大きい4つのサービスについて、DXを図る。

＜実績（成果）＞

3年度において、静岡県が進める「ふじのくにデジタルトランスフォーメーション推進事業」の一環として行う実証実験にエントリーし、実施した。

①貸出カード（バーコード）のスマートフォン表示（3年9月1日サービス開始）

これまでは物理カードが必須となっていたが、既に貸出カードを所有している利用者も含めて、全ての利用者が貸出カードを自身のスマートフォンで表示できるようになった。

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
表示数(回)	4,101	6,456	8,125

②利用者登録等Web申込（令和3年10月1日サービス開始）

これまで来館・郵送でしか利用者登録できなかったが、ふじのくに電子申請サービスを用いて、来館せずとも利用者登録が可能になった。また、Web申込で利用者登録を行った利用者には原則としてカードを発行せず、Web上で全てが完結することが可能となっている。

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
発行数(件)	1,747	3,101	1,274

※各県内学校からクラス単位・学校単位で申込みのあった一括登録を含む。

③電子図書館（3年10月1日サービス開始）

当館の利用者登録をしている利用者であれば、時間や場所を問わず、非接触・非来館の状態
で当館の電子書籍を閲覧することができる。

提供資料数は、サービス開始時点で500点であった。以降、定期的に電子書籍を追加してい
る。

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
提供資料数	1,605	2,330	2,925
閲覧数(回)	8,023	14,515	13,141

④市町等発行PDFファイル自動収集（クローリング）（4年3月収集開始）

県内各市町等が発行し、ホームページで公開しているPDFファイルについて、クローリン
グ技術を用いて全収集している（トップページ以下5階層までのページにリンクされているP
DFファイルに限る）。収集した資料のうち各市町等の許諾を得られた351,060件は、6年9
月30日から当館We bページ上で公開を開始した。なお、本件に類似する事例について各都道
府県立図書館に照会したところ、類似事例は無かった。

7年3月末時点で、2,149,952件のファイルを収集した。

<評価（課題等）及び改善>

①貸出カード（バーコード）のスマホ表示

3年9月のサービス提供開始時は、スマホ表示を行うためのボタンが当館ホームページ（マイ
ライブラリー）の階層の深いところにあったため、利用者から「ボタンを見つけれない」、
「開くのが手間だから物理カードを使う」という声が多くあった。利用者の声を踏まえて、3年
10月に貸出カード表示ボタンをさらに上の階層に作成したことにより、トップページから2タッ
プで表示ができるようになり、利用者の利便性が向上した。

6年度も継続して運用し、利用者の利便性向上に寄与した。

②利用者登録等We b申込

当館では市町立図書館等受取サービス（※）や電子図書館のサービスを提供しているが、ど
ちらの利用にも利用者登録が必須となっている。そのため、これまでは県内全域・場所を問わ
ないサービスを利用する場合でも、最初に郵送（送料は利用者負担）で登録手続きを行うか、
1度は当館に来館する必要があったが、We b上で申込・利用者番号発行を受けられること
で、県内の遠隔地居住者が費用の負担や来館の手間をかけずに、当館のサービスを利用できる
ようになった。

3年度までは職員が日次で手作業にて登録・メール配信まで行っていたが、4年3月にCS
Vインポート機能を実装後は電子申請サービスから出力したCSVデータを業務システムに流
し込むことで登録・メール配信まで半自動的に実行できるようになった。

4年度以降、各県内学校（小中学校を除く県立・市立・私立学校）にクラス単位・学校単位
での申込みの募集を行い、延べ19校38学年の申し込みがあった。

※市町立図書館等受取サービス：当館が所蔵している資料を、県内に点在している市町立図書
館等の受取館で受け取れるサービス。利用者は費用負担無く、当館の資料を借りることがで
きるが、利用には、当館の利用者登録が必須となる。

③電子図書館

3年度に、収集する資料について、館内ワーキンググループで『「学習」「仕事」「QOLの向上」の3つをテーマとした、知識の拡充及び経験の補完を支援する資料を提供する』と、従来とは異なる収集方針を定め、各類別に購入資料を選書した。そのため、今までの当館では所蔵していないような資料が多くて良い、という意見があった。

6年度も継続して全職員が電子書籍の選書に携わり、利用者の関心が低下することのないよう定期的に電子書籍の提供を行った。

なお、アンケートの結果では電子図書館の充実を望む利用者の声が多かった。

④市町等発行PDFファイル自動収集（クローリング）

公開から日が浅く、利用者がどのように活用しているのか未知数であるため、利用状況の調査・分析及びその結果に基づいた検索等利便性の向上が今後の課題である。

b レファレンス・サービスの充実

<目的・計画>

県民の調査研究や生活の中の疑問について参考となる資料の紹介や情報の提供等、迅速・正確なレファレンス・サービスに努める。

<実績（成果）>

○ 調査相談件数（単位：件数）

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総件数	4,710	5,413	4,697
うち静岡県関係	1,438	1,550	1,456
うち30分を越える調査	595	785	674

<評価（課題等）及び改善>

インターネットやA I等の普及により、簡易な質問や所蔵調査が年々減少し、利用者の図書館に対する情報要求はより高度なものになっている。個々の利用者のみならず、市町立図書館に対する支援も含め、県内全体のレファレンス・サービスの向上に努め、利用者の満足度を高めるよう担当職員のレファレンススキルの向上を目指した。

（令和5年度）

5年度のレファレンス総件数は5,413件で、4年度より増加した。

質問形式では来館の割合が多かった。コロナ禍による外出・移動制限が解除され、来館による調査がしやすくなったことが要因であると思われる。

調査種別では、所蔵・所在調査が2,945件、書誌・文献・事実調査は2,468件だった。4年度と比べて所蔵・所在調査の件数は増加し、書誌・文献・事実調査の件数は減少しているが、これも来館による調査が容易になり、自分で資料を調べられるようになったためと思われる。

書誌・文献・事実調査の質問内容では、静岡県に関する質問が全体の34.5%であり、分類別では、多い順に2類（歴史・人物・地理）、7類（芸術・スポーツ）、0類（叢書・新聞）、3類（社会科学）となり、これらで全体の7割以上を占めた。

一般的には、所蔵・所在調査よりも書誌・文献・事実調査の方が時間と労力を必要とするが、インターネット上に多数の情報源が公開されているため、所蔵・所在調査であっても、利用者や市町立図書館でかなりの程度の調査を既に終えた上で問い合わせてきたものも多い。県立図書館としてそのような質問にも対応できるよう、レファレンススキルの向上に努める。

(令和6年度)

6年度のレファレンス総件数は4,697件で、5年度から減少した。

質問形式別の件数を見ると、特に来館による質問が減少しており、5年度と比べて772件減少した。5年度は、コロナ禍による外出・移動制限が解除されたこともあり、来館による質問が大幅に増加したが、その状況が落ち着いたものと推察される。

調査種別では、所蔵・所在調査が2,500件、書誌・文献・事実調査は2,197件であった。所蔵・所在調査の件数が5年度から大幅に減少したが、これも来館による質問の減少に起因するものと考えられる。

書誌・文献・事実調査の質問内容では、静岡県に関する質問が全体の36.5%であり、分類別では、多い順に7類（芸術・スポーツ）、2類（歴史・人物・地理）、3類（社会科学）、0類（叢書・新聞）となり、これらで全体の約8割を占めた。

インターネットやAI等の普及により、自分で調査できる範囲が拡大した一方、偽・誤情報やフィルターバブル（好みに合った情報ばかり表示されること）といった問題も生じており、典拠を示して回答する図書館のレファレンスサービスの意義は増している。県立図書館としてその役割に応えられるよう、レファレンススキルの維持・向上に努めながら、レファレンスサービスの認知度向上に取り組む。

c 視聴覚活動の充実

<目的・計画>

静岡県視聴覚ライブラリーとして、社会教育施設や子ども園・学校等に役立つ資料を中心に整備し、利用に対応している。

<実績(成果)>

社会教育団体や学校での各種学習活動のためにビデオテープ、16mmフィルム等の貸出を行った。

○ 視聴覚ライブラリー資料の貸出数 (単位：点)

区分	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	社会 教育 関係	学校 教育 関係	計	社会 教育 関係	学校 教育 関係	計	社会 教育 関係	学校 教育 関係	計
16mmフィルム	24	13	37	40	14	54	23	12	35
ビデオテープ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DVD	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	24	13	37	40	14	54	23	12	35

※その他 (スライド・8mmフィルム・カセットテープ・CD等)

<評価(課題等)及び改善>

個人で視聴できるメディアの発達等の社会情勢の変化に伴い、団体の利用は激減したが、各市町の公共視聴覚ライブラリーが閉鎖される中で、一部の社会教育団体・学校教育団体が当ライブラリーの16mmフィルムを継続的に利用している。

しかし、資料のメンテナンスが行き届かず、各資料の経年劣化(ビネガーシンドローム)が進行しているのが現状であり、静岡県関係資料については、徐々に媒体変換等を進めている。

また、今後の静岡県視聴覚ライブラリーのあり方についても検討が必要である。

d 図書館の活性化

(a) 図書館講座「葵レク」等の開催

<目的・計画>

一般県民向け無料講座等を開催することで、「生涯学習の拠点」施設として、県民への学習機会の提供に努める。

<実績(成果)>

①講座・講演会等

講座名	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	回数(回)	人数(人)	年度末再生数(回)	回数(回)	人数(人)	年度末再生数(回)	回数(回)	人数(人)	年度末再生数(回)
i 図書館講座「葵レク」	7	135	1,264	8	278	548	6	286	698
ii 子ども図書研究室講演会	1	95	466	1	94	—	1	67	105
iii 上記以外の講演会	1	81	—	2	99	—	2	138	—
合計(延べ)	9	311	1,730	11	471	548	9	491	774

6年度分内訳

i 図書館講座「葵レク」

No.	開催日	名称	概要	人数 再生回数
1	8月4日(日) 8月16日(金)～ 10月4日(金)	新刊児童図書紹介①	新着児童図書を語る会 集合開催 YouTube 配信	15人 480回
2	10月12日(土)	オンラインデータベース活用講座	ルーラル電子図書館	10人
3	11月2日(土)	貴重書講座	『万留帳』の世界～駿府町人の営みが記録された第一級資料～	70人
4	11月4日 (月・休日)	城址講座	天守の出現～天守の歴史と変遷～	140人
5	2月8日(土)	健康医療情報講演会	アイフレイルとは?	43人
6	2月26日(水) 3月14日(金)～ 4月30日(水)	新刊児童図書紹介②	新着児童図書を語る会 集合開催 YouTube 配信	8人 218回

ii 子ども図書研究室講演会

開催日	名称	概要	人数
6月30日(日) 7月30日(火)～ 9月6日(金)	日本の読者に届けたい翻訳文学	講師 三辺律子氏 集合開催 YouTube 配信	67人 105回

iii 上記以外の講演会等

(i) 共催事業

開催日	名称	概要	人数
2月16日(日)	静岡県読み聞かせネットワーク全体研修会「東京子ども図書館の児童サービス～50年の歩みの中で～」	講師 鈴木晴子 氏	82人

(ii) 図書館コンサート

開催日	名称	概要	人数
2月24日 (月・休日)	Library Concert (図書館コンサート) 第二章 アカペラ	会場：閲覧室 演奏及び演奏曲にまつわるエピソード紹介 静岡県立大学 アカペラサークル The Vivaledge	56人

② イベント・展示事業

i 図書館特別企画

(i) 夏休み子ども図書ウィーク 令和6年7月27日(土)～8月3日(土)

No.	開催日	名称	連携機関等	参加人数
1	7月27日(土)	一緒に学ぼう！グローバルマインド講座	静岡県立中央図書館館長	中止
2	7月28日(日)	UD絵本手作り教室	静岡文化芸術大学	26人
3	8月1日(木)	ふじっぴーの親子グラフ教室	県データ活用推進課	8人
4	8月2日(金)	親子自然観察教室	ふじのくに地球環境史ミュージアム	14人
5	8月3日(土)	ぶんぶんごま・折り紙あそび	上足洗シニアクラブ	11人

(ii) ふじのくに文化の丘フェスタ 令和6年10月15日(火)～11月4日(月・休日)

貴重書講座、城址講座を開催したほか、県文書課連携展示「国鉄清水港線の廃止を考える」の展示を行った。また、5年度の図書館コンサート開催時に初出店した地元のコーヒー店hugcoffeeが好評だったため、6年度は城址講座の開催に併せて2度目の出店を行った。

(iii) インド大使館図書贈呈式&ヨガセッション

インド大使館から図書が寄贈された。図書贈呈式ではインド大使館外交官による本の解説が行われたほか、大使館ヨガ講師によるヨガセッションも開催した。定員20人で、一般参加者は16人であった。

ii 館内企画展

No.	期 間	名 称	連携機関等
1	3月5日(火) ～4月29日(月・祝日)	JICA海外協力隊写真展	JICA静岡デスク
2	3月30日(土) ～4月29日(月・祝日)	さくら写真展	静岡県さくらの会
3	4月2日(火) ～4月29日(月・祝日)	県史展示	館内企画
4	6月4日(火) ～6月27日(木)	環境省と南アルプスみらい財団の写 真展及び関連展示	環境省南アルプス自然保護 官事務所
5	6月29日(土) ～7月28日(日)	がん治療に革命を クラファン PR	県環境衛生科学研究所
6	7月17日(水) ～8月29日(木)	草薙神社龍勢花火展	草薙神社龍勢保存会
7	7月17日(水) ～8月18日(日)	ユニバーサルデザイン絵本作品展	静岡文化芸術大学
8	8月6日(火) ～8月18日(日)	統計グラフコンクール作品展	県データ活用推進課
9	8月20日(火) ～9月29日(日)	海洋プラスチックごみ防止「6R県 民運動」展及び関連展示	県廃棄物リサイクル課
10	10月8日(火) ～11月4日(月・休日)	国鉄清水港線の廃止を考える	県文書課
11	10月8日(火) ～11月4日(月・休日)	日本の城“天守”写真展	館内企画
12	11月6日(水) ～12月1日(日)	「犯罪被害者週間」企画展示	県くらし交通安全課
13	12月3日(火) ～1月14日(火)	ものづくりレガシー展	静岡県立工科短期大学校
14	12月4日(水) ～1月14日(火)	静岡書店大賞展	館内企画
15	2月1日(土) ～2月27日(木)	静岡県立中央図書館・山梨県立図書 館連携展示「特別名勝 富士山」	山梨県立図書館
16	2月1日(土) ～2月27日(木)	インド関連展示	館内企画
17	2月4日(火) ～3月2日(日)	静岡発！昭和の幼児指導絵本『あそ び』展	平野雅彦元静岡大学客員教 授
18	2月4日(火) ～3月2日(日)	防犯グッズ展示	県警生活安全企画課
19	3月1日(土) ～3月30日(日)	優良図書展示	県社会教育課

<評価（課題等）及び改善>

（令和5年度）

コロナ禍の影響が落ち着き、全ての講座やイベント等を従来の集合形式で開催することができた。さらに、新規イベントやコロナ禍で中止となっていた展示・企画も復活することができたことから、地域との繋がりを再認識できた。また、他団体との協働イベントを積極的に行い、新館に関することや電子図書館事業などの広報に努めた。

館内企画展は、地元団体（草薙神社龍勢保存会）との共催展示や県の他部署と協力して実施した。

（令和6年度）

講座に関しては、定員に達した貴重書講座やコロナ禍前の人気に戻ってきた城址講座のほか、健康医療情報講演会の参加者数も前回に比べて大幅に伸びているなど、積極的な広報活動が功を奏した。5年度に初開催した図書館コンサートは2回目を開催し、前回とほぼ同人数の参加があった。7年度も6年度同様に積極的な広報活動を行うことによって集客に繋げる。

また、館内企画展は地元団体（草薙神社龍勢保存会）との共催展示や県の他部署と協力して実施したことを7年度以降も活かし、年間を通して賑わいのある展示に繋げていく。

(b) 図書館サポーター活動の促進

<目的・計画>

自らの学習成果を社会に還元しようとする図書館サポーター（ボランティア）を積極的に受け入れ、生涯学習の場を提供するとともに県民参加による開かれた図書館作りを推進する。

<実績（成果）>

・読み聞かせサポーター

子どもコーナー「どんぐりひろば」において「おはなしかい」を開催し、絵本の読み聞かせや手遊び、紙芝居、わらべうた等を行っている。読み聞かせサポーターは週1回と第1・第3日曜日各1回実施しているほか、「おはなしかいスペシャル」も不定期で実施している。

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
登録人数（人）	23	24	22
実施回数（回）	48	55	56
参加者数（人）	412	478	360
開催日	毎週木曜日の午前、第3日曜日の午前、不定期	毎週木曜日の午前、第1・3日曜日の午前、不定期	

・環境・館内サービスサポーター

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
登録人数(人)	3	3	3
活動内容	コロナ禍のため休止 (登録のみ)	壁面装飾11回（どんぐりひろば） 呈茶2回	壁面装飾12回（どんぐりひろば） 呈茶3回

<評価（課題等）及び改善>

平成27年度に図書館サポーター制度を導入し、読み聞かせのほか、環境サポーターや館内サービスサポーターを新設して、様々な分野で図書館が活性化するよう努めている。

（令和5年度）

読み聞かせサポーターによるおはなしかいを1回/月、増やして開催した。また、環境サポーターによる定期的などんぐりひろばの壁面装飾を開始するとともに、館内サービスサポーターはコロナ禍以降、初めて呈茶サービスを実施した。

（令和6年度）

5年度に引き続き、読み聞かせサポーターによるおはなしかい、環境サポーターによるどんぐりひろばの壁面装飾、館内サービスサポーターによる呈茶サービスを実施した。壁面装飾では毎月、季節に合わせた装飾を作成していただき、季節感を感じられる掲示物は子どもだけでなく大人からも大変好評であった。呈茶サービスも5年度に引き続き3回実施し、多くの来館者においしい静岡茶を提供できた。

(ウ) 市町立図書館への支援

a 市町立図書館運営の支援・協力

<目的・計画>

県立中央図書館は、県全体の図書館サービスの向上を図るため、県内の市町立図書館の要請に応じて、図書館運営やサービスに関する助言や情報提供、協力レファレンスを行っている。

<実績（成果）>

(a) 運営相談

市町立図書館等から協力車訪問や電話等で相談を受け、図書館活動の振興に関わる様々な助言や情報交換を行った。相談内容は、政策決定に関するものや管理運営、電子図書館に関するものなど、多岐にわたっている。

○運営相談

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
運営相談件数（件）	368	243	240

○「公立図書館（室）への照会・回答」事業

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
照会項目（件）	13	41	48

（令和5年度）

コロナ禍以前の制限のないサービスを再開する図書館が増え、通常の図書館運営に関する問い合わせが中心となった。相互貸借の対応や電子図書館の開始・提供に関わること、講師選定の方法など相談内容は多岐にわたった。

4年度に開始した「公立図書館（室）への照会・回答」を継続して実施した。第1回は26件、第2回は15件の照会があった。

(令和6年度)

通常の図書館運営に関する問い合わせが中心である。他館の新しいサービスの情報、電子図書館の開始・提供に関わること、利用者への督促・弁償の対応など相談内容は多岐にわたった。

「公立図書館（室）への照会・回答」を継続して実施した。第1回は31件、第2回は17件の照会があった。

(b) 協力車の運行

市町立図書館（市立中央館24館、町立11館、専門図書館1館）への協力車の定期的運行を実施し、情報の交換及び収集、資料等の提供、事務連絡等を行い、各館との連携を図った。また、地域館・分館においては政令指定都市は3年に1回、その他の市は2年に1回訪問している。

協力貸出資料とともに相互貸借資料についても当館が物流の拠点となり、協力車及び宅配便により搬送している。

○定期訪問回数

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
各コース訪問回数(回)	8	7	6
合計回数(回)	64	56	48
延べ日数(日)	72	63	54

(令和5年度)

定期訪問は、8コース（伊豆・駿豆・岳駿・東部・中部・東遠・中遠・西遠）を設定し、業務効率化を図るため年7回訪問する計画で開始し、悪天候等による訪問中止はなかった。また、地域館・分館30館に訪問した。要請訪問として、ねむの木図書館に訪問し、助言や情報提供を行った。また、松崎町立図書館に訪問し、絵本の配架と分類に関する助言を行った。

(令和6年度)

定期訪問は、8コース（伊豆・駿豆・岳駿・東部・中部・東遠・中遠・西遠）を設定し、年7回の訪問を計画して開始した。年度途中に公用車運転における安全性の向上とさらなる業務の効率化を検討する目的で、9月の訪問を中止し、オンライン運営相談（Zoom）を通じて情報交換や運営相談等を試行した。なお、悪天候等による訪問中止はなかった。また、地域館・分館については、年間で26館を訪問した。要請訪問としては、静岡県図書館協会の加盟を検討している東都大学附属図書館沼津分館を訪問し、静岡県内図書館関連の状況等に関する情報提供を行った。

(c) 協力レファレンス

市町立図書館に寄せられたレファレンスのうち、当該館で解決できない質問について、依頼に基づいて県立中央図書館が調査、回答する協力レファレンスを行っている。本館所蔵のレファレンスブックなどの各種資料やオンラインデータベース等を活用し、対応した。

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市立図書館	41	53	43
町立図書館	11	2	3
合 計	52	55	46

(d) 刊行物

各市町立図書館が、県立中央図書館を利用する際の手引きとなる『図書館協力ハンドブック PLUM』及び県内各図書館の統計等をまとめた『静岡県の図書館』を毎年発行している。

<評価（課題等）及び改善>

市町立図書館からの多種多様な協力レファレンスや運営相談に的確・迅速に対応することで、市町立図書館及び県民の読書活動や調査相談活動の支援を行うことができた。

今後も、市町立図書館からの運営相談に対応するとともに、災害や社会情勢の変化に伴い必要となる情報の提供を行うなど、その時々によ請される支援を行う。

（令和5年度）

利用者の複写や警察からの情報提供依頼への対応など、即時回答が求められる相談を受けることも度々あり、県立図書館として支援を行うことができた。協力車事業などを継続してきたなかで信頼関係を構築することができた。

今後も良好な関係を保ち、相談に対応できるよう県内外の情報を収集し、支援ができるよう努めていく。

（令和6年度）

4年度のオンライン運営相談(Zoom)を踏まえ、6年9月の協力車訪問を全てオンライン運営相談(Zoom)に変更し、市町立図書館にも対応していただいた。運営相談や情報共有をしていく中で、オンラインで実施することが難しい自治体があることやこれまでの良好な関係があるからこその実現であること、協力車訪問を希望している自治体が多いことなどがわかった。今後も訪問とオンラインを効果的に利用して、図書館振興を図っていく。

b 職員研修

<目的・計画>

県内の図書館職員が、図書館職員として必要な知識の修得、資質の向上を図るため、初任者から館長等まで、各職位に対応する理論、実務の研修会を実施する。

<実績（成果）>

(a) 公立図書館等職員研修

研修名	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	回数 (回)	再生回数(回) または人数(人)	回数 (回)	再生回数(回) または人数(人)	回数 (回)	再生回数(回) または人数(人)
基礎	図書館基礎研修	1 108人 Zoom	1 121人 Zoom	1 118人 Zoom		
	おうだんくん基礎研修	1 241回 YouTube	1 654回 YouTube	1 218回 YouTube		
	レファレンス基礎研修	4 92人	3 64人 集合 1 235回 YouTube	4 84人 集合 1 26回 YouTube		
専門	図書館広報研修	1 43人	1 36人	— —		
	大学・専門図書館研修	1 20人	1 31人	1 30人		
	図書館情報研修	1 33人 Zoom	— —	1 40人		
	レファレンス応用研修	2 47人	2 54人	1 39人		
	図書館サービス研修	2 61人 ①:39人 ②:22人	1 30人	1 71人		
	児童・青年サービス研修	1 38人	1 42人	1 98人 Zoom		
	資料保存研修	— —	1 60人	1 60人		
	館長研修会	1 47人 Zoom	1 50人 Zoom	1 57人 Zoom		
運営	図書館運営研修	1 26人	1 33人	1 26人		
特別	図書館情報交換会	2 11人 集合 1 12人 Zoom	1 16人	1 8人		
	合計	19 241回 538人	16 889回 537人	16 244回 631人		

(b) レファレンス出前研修

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
回数 (回)	7	9	5
参加者数 (人)	111	176	126

(c) 子ども図書研究室講師派遣

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
回数 (回)	5	5	5
参加者数 (人)	146	143	48

<評価（課題等）及び改善>

(a) 公立図書館等職員研修

（令和5年度）

講義のみの研修や4月当初に行う参加者が多い研修は、オンライン研修を基本として実施し、集合型研修では、実習やグループワーク、図書館見学等のメニューを積極的に実施した。

レファレンス基礎研修の4回目（会場：静岡県総合教育センター）は、大雨による交通機関の運休等が事前に想定されたことから、急遽集合開催を中止してオンデマンド配信に変更したが、それ以外の研修は当初の予定どおり実施できた。

（令和6年度）

5年度と同様、集合型研修とオンライン研修を組み合わせることで、一部録画した研修のオンデマンド配信も行った。また、資料保存研修は隔年開催であったが、市町立図書館等から要望が多く寄せられたため毎年開催とした。なお、レファレンス応用研修は例年2回開催していたが、1回開催とするとともに定員数を拡大することで、事業の効率化を進めた。

オンデマンド配信の研修は、各図書館の休館時等に視聴されることが増え、都合のよい時間に少しずつ受講できてよいと好評である。今後も、効果的に研修が実施できるよう、集合、オンライン、オンデマンド配信等、様々な方法で研修を実施する。

(b) レファレンス出前研修

職員向けレファレンス研修へ講師を派遣してほしいという市町立図書館からの要望に応えるため、平成22年度から「レファレンス概論」や「図書館サービスと著作権」「参考図書での調査」「データベースを使った調査」などのテーマを設定し、市町立図書館が希望する内容を選択する「出前研修」を実施している。5年度は9回、6年度は5回実施した。

(c) 子ども図書研究室講師派遣

「子ども図書研究室講師派遣事業」は平成30年度の試行実施が好評であり、市町立図書館等からも事業の継続要望が強かったため、元年度から本格的に実施している。5年度は5回、6年度は3回を集合型で実施した。今後も、市町立図書館を支援するため継続して実施していく。

c 図書館活動の振興・奨励

<目的・計画>

県立中央図書館は、図書館設置条例未制定自治体に対して、住民に対して適切な図書館サービスを行うことができるよう、公立図書館設置の働きかけや設置に関する助言を行う。

また、様々な機会を捉えて、生涯学習の拠点としての図書館の意義を県民に周知する。

<実績（成果）>

(a) 条例未制定町訪問

県内の図書館設置条例未制定町は川根本町の1町である。

(令和5年度)

10月6日に川根本町文化会館図書室を訪問し、県内自治体の図書館設置条例についての情報や今後の図書館設置に関する町の状況について情報共有した。また、図書室のサービスなどについて現状を伺いながら助言を行った。

(令和6年度)

9月19日にオンライン(Zoom)により図書室の現状や町の状況について情報共有した。7年2月21日に川根本町文化会館図書室ほか1室に訪問し、川根本町の図書館や教育機関との連携状況等を伺い、連携強化について助言を行った。

(b) 静岡県図書館大会

本大会は、静岡県教育委員会、静岡県図書館協会、静岡県読書推進運動協議会、静岡県読み聞かせネットワークの共催による。県単位としては全国でも最大規模の図書館大会である。

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
期 日	集合 : 11月21日 オンライン : 11月28日	11月13日	11月11日
参加者数(人)	699(累計)	1,001	818

(令和5年度)

4年ぶりに、コロナ禍による制限なく、全て集合にて開催した。5年度は、第30回記念大会として、2年度に図書館大会を中止したことによる基金を活用し、特別講演の講師として齋藤孝氏を招聘するとともに、記念展示も行った。4年度に引き続き、講師の許諾が得られた講演は、2月1日から2月29日までYouTubeにて配信を行った。累計826回の閲覧があった。

令和5年度 静岡県図書館大会(第30回)	
期 日	令和5年11月13日
会 場	グランシップ
参加人数	1,001人
内容	特別講演:「読書が生み出す力・導く力」 分科会:「図書館のSOS 利用者と職員をまもるための心得」、「館種を超えた図書館・情報環境を考えるーデジタル、〇〇〇、そして自治」、「松岡享子さんが教えてくださったこと」、「絵本読みと読書が支える言葉力、思考力、学力」、「GIGAスクール時代の学校図書館のアップデート」、「キャッシュレス決済による図書館サービス拡大の可能性」の6分科会を実施 記念展示:静岡県図書館協会加盟館等が所有する図書館関係の思い出の写真や読書週間のポスターなど約100点を展示

(令和6年度)

6年度から新たに静岡県読み聞かせネットワークが共催となった。5年度から分科会を1つ減らし5分科会で構成したことで、図書館大会運営委員及び県立職員は、会場での十分な対応ができた。

また、広報を障害者関係機関まで広げたことで、視覚障害者からの申込みがあり、ガイドを配置する対応をした。なお、講師の許諾が得られた講演は、2月4日から3月5日までYouTubeにて配信を行い、累計427回の閲覧があった。

令和6年度 静岡県図書館大会（第31回）	
期 日	令和6年11月11日
会 場	グランシップ
参加人数	参加人数 818 人
内 容	全体会：「徳川家康は本を読んで天下を取った」 分科会：「読む喜びを全ての人に～読書バリアフリーの推進～」、「つながる信州の図書館」、「言葉と歩む」、「図書館がカラフルな学びの場になるために図書館員ができること」、「大学図書館のユニバーサルデザイン～学生・教職員のために、大学図書館ができること・おこなうべきこと～」の5分科会を実施

<評価（課題等）及び改善>

（令和5年度）

図書館設置条例未制定の川根本町教育委員会へは4年度から継続して訪問できた。今後も条例設置に関する情報提供を続けながら、現状の図書室のサービス向上も支援できるよう積極的に対応していく。

図書館大会については、4年ぶりに全て集合開催であったこと、第30回記念大会として著名な齋藤孝氏を講師として招聘できたこともあり、一般の参加者も含めて、コロナ禍以前と同様に多くの参加者があり、満足度も高かった。5年度は記念大会ということで、全て集合開催としたが、6年度については、一部オンライン開催なども視野に入れつつ、開催方法について静岡県図書館協会等とも協議をしながら準備を進めた。

（令和6年度）

図書館設置条例未制定の川根本町教育委員会との情報共有の機会を増やすことができた。今後も定期的に情報共有できる機会を作り、設置条例制定への働きかけを継続しつつ、現行図書室の充実を図ることの支援も行っていく。

図書館大会は5年度に記念大会を終えての通常開催となったが、多くの参加者が満足する大会となった。後日配信はどの講師からも許諾が得られ、会場に参加できなかった方にも対応できた。

また、障害者への広報を積極的に行い、参加申込みのあった視覚障害者へはガイドを配置した。7年度は全国公共図書館研究集会を兼ねて開催するため、県外からの参加者も多く見込まれる。静岡県図書館協会、静岡県読書推進運動協議会、静岡県読み聞かせネットワーク及び全国公共図書館研究集会事務局と協議しながら準備を進めていく。

(I) 関係機関・関係団体との連携・協力

<目的・計画>

関係機関・関係団体と連携・協力して、静岡県図書館大会や図書館職員研修会等を開催し、図書館活動の振興や読書活動の発展等に努める。

<実績（成果）>

a 大学・専門図書館との連携

宅配による県立中央図書館資料（協力貸出）の搬送を実施した。また、静岡県図書館協会と

共催して研修を行った。

b 静岡県図書館協会（加盟館126館）

県内図書館の連携を図り、情報交換とともに各図書館の振興を図った。

（事業内容）

①静岡県図書館大会（共催）

加盟館から選出された運営委員と県立図書館とで運営を担った。

②市町立図書館等職員対象の研修（共催）

すべての研修を県教育委員会と共催しており、各研修の特性を鑑みたくて集合型もしくはオンライン配信等の開催方法を選択して実施した。

③『静岡県図書館協会加盟館職員名簿』発行

④『静岡県図書館協会会報』発行（年2回）

c 静岡県読書推進運動協議会

静岡県図書館大会において県内優良読書グループを表彰及び運営に協力するなど、県民の読書活動の推進を図った。

（事業内容）

①『読書活動だより』の発行（年1回）

②静岡県図書館大会（共催）

③講演会等（参考）

下記dの講演会は、静岡県読み聞かせネットワークと当協議会との共催事業である。

d 静岡県読み聞かせネットワーク

県内の読み聞かせ関連の団体・グループや関連機関と相互に連携を図りながら、地域における読み聞かせ団体の奨励・支援を行った。

①講演会等（参考）

	令和5年度	令和6年度
開催日	令和5年10月28日（土）	令和7年2月16日（日）
会場	静岡県立中央図書館会議室	静岡県立中央図書館会議室
参加者	42人	82人
演題	戦後日本の絵本出版の到達点～希代の出版人松居直の仕事に則して～	東京子ども図書館の児童サービス～50年の歩みの中で～
講師	古川信夫氏	鈴木晴子氏
備考	当館共催	当館共催

e 浙江省図書館との交流

平成21年2月に浙江省教育交流訪日団の来静を機に締結した「静岡県立中央図書館と浙江省図書館との友好提携」による交流事業を行った。

事業内容	令和5年度	令和6年度
図書交換	寄贈30冊、受贈31冊＋3誌	寄贈30冊、受贈39冊＋3誌

f ムセイオン静岡

県立中央図書館と県立美術館、静岡県埋蔵文化財センター、県立大学、グランシップ、県舞台芸術センター（SPAC）、ふじのくに地球環境史ミュージアムの7機関で、「ムセイオン静岡」として連携事業を行った。

区分	令和5年度	令和6年度
共通イベント	「ふじのくに文化の丘フェスタ2023」 (10月17日～11月5日)	「ふじのくに文化の丘フェスタ2024」 (10月15日～11月4日)
各機関実施事業での連携協力（当館実施事業のみ）	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み子ども図書ウィーク ふじのくに地球環境史ミュージアム准教授による親子自然観察教室（8月2日） 文化の丘スタンプラリー（10月17日～11月5日） 	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み子ども図書ウィーク ふじのくに地球環境史ミュージアム准教授による親子自然観察教室（8月2日） 文化の丘スタンプラリー（10月15日～11月4日） 県立大学学生広報大使による『文化の丘』誌面作成（2月1日発行） 県立大学アカペラサークルによるコンサート（2月24日）

g 山梨県立図書館との連携協定

富士山の文化振興に貢献することを目的に平成27年6月に締結した「山梨県立図書館と静岡県立中央図書館との富士山関係資料に関する連携協定」による連携事業を行った。

事業内容	令和5年度	令和6年度
連携推進協議会	2回 6月20日（山梨で開催） 2月2日（静岡で開催）	2回 6月18日（静岡で開催） 2月27日（山梨で開催）
富士山関係資料の相互利用による企画展示	富士山世界文化遺産登録10周年記念 「富士山の信仰と芸術」 静岡県立中央図書館 (2月1日～2月28日) 山梨県立図書館 (2月16日～3月17日)	「特別名勝 富士山」 静岡県立中央図書館 (2月1日～2月27日) 山梨県立図書館 (2月14日～3月16日)

h 書店との連携

静岡県内の書店員有志を中心に開催をしている静岡書店大賞において、県立中央図書館は公立図書館や学校図書館関係職員に投票の呼びかけや展示の働きかけを行うなどの連携をした。

<評価（課題等）及び改善>

（令和5年度）

公共図書館職員を対象とした研修では、静岡県教育委員会と静岡県図書館協会の共催により、各研修の特性に応じた効果的な開催方法をとることによって、充実した研修を行うことができた。また、「読書県しずおか」づくりを目指して、静岡県読書推進運動協議会や静岡県読み聞かせネットワーク等との協働を継続した。

（令和6年度）

公共図書館職員を対象とした研修では、静岡県教育委員会と静岡県図書館協会の共催により、各研修の特性に応じた効果的な開催方法をとることによって、充実した研修を行うことができた。ムセイオン静岡における連携については、5年度よりも事業数を増やすことができた。また、「読書県しずおか」づくりを目指して、静岡県読書推進運動協議会や静岡県読み聞かせネットワーク等との協働を継続した。

(カ) 新館整備の検討

<目的・計画>

新図書館の全面移転について、新図書館整備課等と連携し、基本構想・基本計画及び管理運営計画等に基づく新館整備に関する作業を支援する。職員間で様々な情報を共有して、新館づくりに積極的にに関わり、多くの人が心から待ち望む県立図書館づくりに取り組む。

なお、元年度までは文化力の拠点施設内への移転予定であったが、元年度末に単独整備することに決まった。

<実績（成果）>

（令和5年度）

- ・新館整備に向けて新図書館整備課と連携した情報共有のための研修を3回、新図書館整備課及び新県立中央図書館整備事業設計業務委託受注者と連携したワークショップを4回実施した。
- ・新図書館整備課と当館職員による新館整備に関するワーキングを定期的を実施した。
- ・4年度に作成したサービス計画概要書をもとに、職員全員がそれぞれ分担して、新館で実施するサービス計画の準備を進めた。
- ・新館整備に資するため、当館単独又は新図書館整備課と共同の先進図書館視察調査を9館（高知県立図書館、佐賀県立図書館、都城市立図書館等）実施し、延べ9人が参加した。
- ・鳥取県立図書館及び山梨県立図書館に実務研修としてそれぞれ職員1人を1か月派遣した。

（令和6年度）

- ・新館整備に向けて新図書館整備課との会議を2回、新図書館整備課からの説明会を4回、新図書館整備課及び設計業務委託受注者とのワーキングを3回実施した。
- ・新図書館整備課と密に連携をとり、十分な意思疎通を図ることによって、新館に関する認識に齟齬が生じないように努めた。
- ・新図書館サービス計画を策定するため、サービス計画概要書から一歩進めて、当館職員がそれぞれ分担して43件のサービス計画作成シートの作成に取り組んだ。これらシートのうち37件を、29回にわたる新館準備委員会での討議を経たうえで、新図書館整備課に提出した。
- ・新館整備に資するため、当館単独又は新図書館整備課と共同の先進図書館視察調査を10館（福井県立図書館、滋賀県立図書館等）実施し、延べ13人が参加した。
- ・埼玉県立久喜図書館に実務研修として職員1人を2か月派遣した。
- ・新館整備に向けた雑誌所蔵資料データ公開体制の構築のため、業者委託に先行して、6年度から設置したワークステーション（障害者雇用）と連携し、バーコード貼付業務を実施、28,231冊（一日平均197冊）を登録した。

<評価（課題等）及び改善>

- ・新県立図書館整備について、引き続き、計画に従って移転新築が行なわれるよう調整していく。
- ・県民に役立つ図書館を目指して図書館の意向が適切に反映されるよう、アフターコロナ時代におけるDXも踏まえて、より具体的なフェーズを積極的に支援していく。

(カ) 静岡県立中央図書館協議会の開催

<目的・計画>

図書館協議会は、図書館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関である。（図書館法第14条）

図書館協議会委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う方並びに学識経験のある方たちを任命し、専門的な立場から図書館運営に関する意見をいただく。（図書館法第16条、図書館法施行規則第12条等）

図書館協議会の開催により、地域の実情を踏まえ、利用者及び住民の要望を十分に反映した図書館運営を行うように努める。（図書館の設置及び運営上の望ましい基準）

<実績（成果）>

a 開催状況

年 度	第1回	第2回
令和5年度	令和5年6月1日(木)	令和6年2月16日(金)
令和6年度	令和6年6月14日(金)	令和7年3月6日(木)

b 主な協議事項等

令和5年度

(第1回)

- ・ 県立中央図書館の状況及び令和5年度主要施策について
- ・ 令和5年度各班等重点取組について

(第2回)

- ・ 県立中央図書館の状況について（図書館DXの推進、イベント及び連携事業、静岡県図書館大会等）
- ・ 令和5年度主要施策報告・重点取組の評価について
- ・ 令和6年度の基本方針と主要施策について

令和6年度

(第1回)

- ・ 県立中央図書館の状況及び令和6年度主要施策について
- ・ 令和6年度各班等重点取組について

(第2回)

- ・ 県立中央図書館の状況について（イベント及び連携事業、静岡県図書館大会等）
- ・ 令和6年度主要施策報告・重点取組の評価について
- ・ 令和7年度の基本方針と主要施策について

<評価（課題等）及び改善>

（令和5年度）

第1回目は、集合とオンライン参加の併用で開催した。当館の業務を御理解いただくとともに、それらに対する意見を聴取できた。特にデジタルアーカイブや、居場所としての図書館づくりについて活発な議論と幅広い意見を聴取でき、今後の当館の運営等の参考とすることができた。

第2回目は、当館の主要施策の報告及び、重点取組に対して外部評価をしていただいた。事前に各委員に評価をしていただいたいただき、当日は、職員研修、障害者サービス、児童資料の活用等、新館でのサービスを視野に入れた貴重な意見を聴取することができ、今後の取組に生かしていく。

(令和6年度)

第1回目は、当館の業務を御理解いただくとともに、それらに対する意見を聴取できた。特に図書館大会での障害者への対応や、新館児童書巡回貸出事業、書店との連携について活発な議論と幅広い意見を聴取でき、今後の当館の運営等の参考とすることができた。

第2回目は、当館の主要施策の報告及び、重点取組に対して外部評価をしていただき、当日は広報、児童資料の活用等貴重な意見を聴取することができ、今後の取組に生かしていく。

事業の根拠法令調

事業名	根 拠 法 令
静岡県立中央図書館 事業	<p>教育基本法（第12条）</p> <p>社会教育法（第3条、第6条、第9条）</p> <p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第30条、第31条）</p> <p>図書館法（第1条～第4条、第7条～第10条、第13条～第17条） 図書館法施行規則（第12条）</p> <p>子どもの読書活動の推進に関する法律（第2条、第4条、第7条、第9条、第10条）</p> <p>文字・活字文化振興法（第5条～第7条）</p> <p>視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（第9条、第10条、第14条、第15条、第17条）</p> <p>図書館の設置及び運営上の望ましい基準</p> <p>静岡県文化センター設置条例 静岡県文化センターの運営に関する規則</p> <p>静岡県文化センター使用料条例 静岡県文化センター使用料条例施行規則</p> <p>静岡県教育委員会組織規則</p> <p>静岡県立中央図書館協議会条例 静岡県立中央図書館協議会の運営に関する規則</p> <p>静岡県子ども読書活動推進計画</p>

職 員 調

(令和7年4月1日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	館長	高橋 健二	総括	□□□□	□□□□	□□□□
2	副館長兼総務課長	瀧 みやこ	総括補助・運営調整	□□□□	□□□□	□□□□
3	総務班長	田中 理一	総務班総括	□□□□	□□□□	□□□□
4	主査	吉村亜矢子	会計	□□□□	□□□□	□□□□
5	主任	東元 香澄	施設・委託・会計	□□□□	□□□□	□□□□
6	主事	石黒 愛梨	報酬・福利厚生・会計	□□□□	□□□□	□□□□
7	企画振興課長	阿部 幸子	企画振興課総括	□□□□	□□□□	
8	企画班長	青木 修	企画班総括	□□□□	□□□□	□□□□
9	主幹	藤ヶ谷昌則	広報	□□□□	□□□□	
10	主査	渡辺 勝	研修	□□□□	□□□□	□□□□
11	主査	入月 卓也	図書館システム	□□□□	□□□□	
12	振興班長	青山 滋乃	振興班総括	□□□□	□□□□	□□□□
13	主査	川崎 祥子	市町立図書館等の振興	□□□□	□□□□	
14	主任	殿岡 容子	市町立図書館等の振興	□□□□	□□□□	□□□□
15	資料課長	木村 知美	資料課総括	□□□□	□□□□	□□□□
16	図書班長	三枝 春奈	図書班総括	□□□□	□□□□	□□□□
17	主査	眞子 みな	児童資料	□□□□	□□□□	□□□□
18	主査	前林 真美	視覚覚資料、寄贈図書、図書管理	□□□□	□□□□	□□□□
19	主事	上村まりを	寄贈図書、図書管理	□□□□	□□□□	□□□□
20	技能員	加藤 桂子	資料受入・整理等補助	□□□□	□□□□	
21	新聞雑誌班長	水井千保子	新聞雑誌班総括	□□□□	□□□□	□□□□
22	主査	安田 宏美	逐次刊行物の目録、システム	□□□□	□□□□	□□□□
23	主事	田中 凌太	逐次刊行物の目録、新聞管理	□□□□	□□□□	□□□□
24	調査課長兼一般調査班長	鈴木 由美	調査課総括	□□□□	□□□□	□□□□
25	主査	児玉 匡史	一般調査班総括	□□□□	□□□□	□□□□
26	教育主査	土屋 祐加	調査相談、オンラインDB	□□□□	□□□□	□□□□
27	教育主査	水野 彰紀	調査相談、障害者サービス他	□□□□	□□□□	
28	主事	湯川 愛結	調査相談、研修他	□□□□	□□□□	□□□□
29	地域調査班長	八木 麻美	地域調査班総括	□□□□	□□□□	□□□□
30	教育主幹	山本加奈恵	地域資料収集整理、教科書	□□□□	□□□□	
31	主事	板橋 由佳	地域資料収集整理・統計	□□□□	□□□□	□□□□
32	主事	山中 菜緒	地域資料収集整理、デジタル化	□□□□	□□□□	□□□□
34	教育主査	尾上 容子	歴文資料保存公開	□□□□	□□□□	
33	教育主任	柴 雅房	歴文資料保存公開	□□□□	□□□□	□□□□
35	主任	大林 元	歴文資料保存公開	□□□□	□□□□	
平均年数					3.8	

会計年度任用職員

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	会計年度任用職員	赤沼江美子	総務・企画・配架等補助	□□□□	□□□□	
2	会計年度任用職員	伊藤勢津子	資料受入・配架等補助	□□□□	□□□□	
3	会計年度任用職員	近藤 昌子	資料受入・配架等補助	□□□□	□□□□	
4	会計年度任用職員	三原 葉子	資料受入・配架等補助	□□□□	□□□□	
5	会計年度任用職員	飯塚 享子	資料受入・配架等補助	□□□□	□□□□	
6	会計年度任用職員	山崎 康平	資料受入・配架等補助	□□□□	□□□□	
7	会計年度任用職員	春日井裕美子	子ども図書研究室補助	□□□□	□□□□	
8	会計年度任用職員	高田 明美	図書等貸出・返却等	□□□□	□□□□	
9	会計年度任用職員	野沢佳奈子	図書等貸出・返却等	□□□□	□□□□	
10	会計年度任用職員	増田 曜子	図書等貸出・返却等	□□□□	□□□□	
11	会計年度任用職員	長谷川 毅	歴文資料保存・公開	□□□□	□□□□	
12	会計年度任用職員	前島 昌子	資料受入	□□□□	□□□□	
13	会計年度任用職員	増田 弘和	資料受入	□□□□	□□□□	
14	会計年度任用職員	前田沙悠理	資料受入	□□□□	□□□□	
15	会計年度任用職員	渡邊 康太	資料受入	□□□□	□□□□	

職員の年齢調

(令和7年4月1日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	5人	
30歳以上40歳未満	7人	
40歳以上50歳未満	8人	
50歳以上56歳未満	8人	
56歳以上61歳未満	5人	
61歳以上	2人	うち再任用2人
計	35人	平均年齢45歳7ヶ月

健康管理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 36人
	職員数 36人
受 診 率	100.0%
県平均受診率	100.0%

(1) 未受診の理由

妊娠・産休中 名
産休・育休中 名

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分		人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。	0人
B1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	0人
B2		0人
C1	勤務をほぼ平常に行っても症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	0人
C2		0人
D1	平常の勤務でよい。	(13) 13人
D2		(4) 4人
D3		(17) 17人
区 分 者 計		(34) 34人
未区分者数		(1) 1人
合 計		(35) 35人

(1) 管理区分A～C2該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 人
イ 新規採用 1人
ウ 自己都合による未受診 人
エ その他

職 員 配 置 調

(令和7年4月1日現在)

区 分	総務課	企画 振興課	資料課	調査課		計	
					歴史文化情 報センター		
所 在 地	静岡県駿河区谷田 53-1						
担 当 地 区	県 内 全 域						
配 置 職 員	館 長	1					1
	副館長兼総務課長	1					1
	課 長		1	1			2
	課長兼班長				1		1
	班 長	1	2	2	1		6
	主 幹		1				1
	教育主幹				1		1
	教育主査				2	1	3
	教育主任					1	1
	主 査	1	3	3	1		8
	主 任	1	1			1	3
	主 事	1		2	3		6
	技 能 員			1			1
	会計年度任用職員	(5)		(7)	(2)	(1)	(15)
計	6 (5)	8	9 (7)	9 (2)	3 (1)	35 (15)	

預 金 調

(令和7年2月28日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘 要
静岡銀行草薙支店	無利息型 普通預金	0019935	県立中央図書館 資金前渡者 館長 高橋健二	0	職員給与等の 資金前渡口座
静岡銀行草薙支店	無利息型 普通預金	0385301	(自振口) 県立中央図書館 資金前渡者 館長 高橋健二	0	光熱水費、 電話料金の 引き落とし口座
残 高 合 計				0	

郵 券 等 受 払 調

(令和7年2月28日現在)
(単位：枚、円)

区 分	種 類	令 和 5 年 度						令 和 6 年 度						差 引 現 在 高	摘 要	
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出				
		枚 数	金 額	枚 数	金 額	枚 数	金 額	枚 数	金 額	枚 数	金 額	枚 数	金 額			枚 数
郵 券	120円券	2	240	20	2,400	4	480	18	2,160	0	0	6	720	12	1,440	郵送用
	84円券	0	0	20	1,680	9	756	11	924	0	0	3	252	8	672	〃
	82円券		0		0		0	0	0		0		0	0	0	〃
	63円券		0		0		0	0	0		0		0	0	0	〃
	10円券	5	50	30	300	10	100	25	250	0	0	10	100	15	150	〃
	5円券	9	45	0	0	1	5	8	40	0	0	0	0	8	40	〃
	2円券	1	2	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	2	〃
	レターパックプラス (520円券)	0	0	55	28,600	36	18,720	19	9,880	0	0	5	2,600	14	7,280	〃
	レターパックライト (370円券)	0	0	5	1,850	5	1,850	0	0	0	0	0	0	0	0	〃
計		/	337	/	34,830	/	21,911	/	13,256	/	0	/	3,672	/	9,584	
有料道路 回数券	200円券	15	3,000	22	4,400	26	5,200	11	2,200	33	6,600	17	3,400	27	5,400	公用車 出張用
計		/	3,000	/	4,400	/	5,200	/	2,200	/	6,600	/	3,400	/	5,400	
図書カード	1,000円券	0	0	10	10,000	10	10,000	0	0	10	10,000	9	9,000	1	1,000	副賞用
計		/	0	/	10,000	/	10,000	/	0	/	10,000	/	9,000	/	1,000	

委 託 料 等 歳 出 予 算 執 行 状 況 節 別 集 計 表

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)		
					令和4年度	令和5年度	左のうち4年度からの繰越額分
(12) 委託料	01一般会計	11教育費	02教育委員会費	03教育管理費		301,400	/
	01一般会計	11教育費	09社会教育費	02図書館費		25,042,113	
計					16,391,309	25,343,513	
(14) 工事 請負費	01一般会計	11教育費	09社会教育費	02図書館費		495,000	/
計					440,000	495,000	
(16) 公有財産 購入費							/
計					0	0	
(17) 備 品 購入費	01一般会計	11教育費	09社会教育費	02図書館費		68,719,947	/
計					58,282,984	68,719,947	
(18) 負担金、 補助及び 交付金	01一般会計	11教育費	09社会教育費	02図書館費		487,680	/
計					526,689	487,680	
(21) 補償、補填 及び賠償 金							/
計					0	0	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年2月28日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)	
						うち、5年度からの繰越額分
(12) 委託料	01一般会計	11教育費	02教育委員会費	03教育管理費	451,000	0
	01一般会計	11教育費	09社会教育費	02図書館費	14,762,705	0
計					15,213,705	0
(14) 工事 請負費						0
計					0	0
(16) 公有財産 購入費						
計					0	0
(17) 備品 購入費	01一般会計	11教育費	09社会教育費	02図書館費	49,710,229	0
計					49,710,229	0
(18) 負担金、 補助及び 交付金	01一般会計	11教育費	02教育厚生費	03教育管理費	13,400	0
	01一般会計	11教育費	09社会教育費	02図書館費	431,000	0
計					444,400	0
(21) 補償、補填 及び賠償金					0	0
計					0	0

委託料に関する調

(令和5年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	庁舎等警備業務委託	(株)全日警静岡支社	4,257,000	2,640,000	0	2,640,000	一般	2.4.1 ～ 7.3.31		(1,584,000)	機械警備	R2長期
									5.5.31	44,000		
									5.6.30	44,000		
									5.7.31	44,000		
									5.8.31	44,000		
									5.9.29	44,000		
									5.10.31	44,000		
									5.11.30	44,000		
									5.12.25	44,000		
									6.1.31	44,000		
									6.2.28	44,000		
									6.3.29	44,000		
									6.4.30	44,000		
小計	528,000											
2	空調設備保守点検業務委託	菱和設備(株)	2,761,000	1,760,000	0	1,760,000	一般	4.5.1 ～ 5.4.30	5.6.19	133,760	図書館内空調設備保守点検	R4長期
									5.6.30	26,950		
									小計	160,710		
3	空調設備保守点検業務委託	菱和設備(株)	3,037,100	1,760,000	0	1,760,000	一般	5.5.1 ～ 6.4.30	5.7.14	466,400	図書館内空調設備保守点検	R5長期
									5.7.31	26,950		
									5.8.31	26,950		
									5.9.29	264,220		
									5.10.31	26,950		
									5.11.30	260,040		
									5.12.27	338,030		
									6.1.31	26,950		
									6.3.15	135,850		
									6.3.29	26,950		
									6.4.30	26,950		
小計	1,626,240											
4	自動扉（ブ ラウジング入 口）保守点 検業務委託	中日本オー ト・ドア （株）	26,400	26,400	0	26,400	随契	4.10.1 ～ 5.9.30	5.7.31	(13,200)	ブラウジング入口の自動扉 保守点検 N1台	R4長期 随契 1号 (少額)
									5.10.26	6,600		
									小計	13,200		
5	自動扉（ブ ラウジング入 口）保守点 検業務委託	中日本オー ト・ドア （株）	26,400	26,400	0	26,400	随契	5.10.1 ～ 6.9.30	6.1.31	6,600	ブラウジング入口の自動扉 保守点検 N1台	R5長期 随契 1号 (少額)
									6.4.26	6,600		
									小計	13,200		
6	自動扉（正 面入口等） 保守点検業 務委託	ナブコシス テム(株)静 岡支店	66,000	66,000	0	66,000	随契	4.7.1 ～ 5.6.30	5.7.31	(49,500)	正面入口等自動扉保守点検 N3台	R4長期 随契 1号 (少額)
										16,500		
7	自動扉（正 面入口等） 保守点検業 務委託	ナブコシス テム(株)静 岡支店	66,000	66,000	0	66,000	随契	5.7.1 ～ 6.6.30	5.10.31	16,500	正面入口等自動扉保守点検 N3台	R5長期 随契 1号 (少額)
									6.1.31	16,500		
									6.4.30	16,500		
									小計	49,500		
8	旧埋文消防 設備保守点 検業務委託	(株)弥生設 備商会	95,700	95,700	0	95,700	随契	4.10.1 ～ 5.9.30	5.9.29	(56,100)	旧埋蔵文化財センターの消 防設備保守点検	R4長期 随契 1号 (少額)
										39,600		
9	旧埋文消防 設備保守点 検業務委託	(株)弥生設 備商会	95,700	95,700	0	95,700	随契	5.10.1 ～ 6.9.30	6.4.26	56,100	旧埋蔵文化財センターの消 防設備保守点検	R5長期 随契 1号 (少額)
10	ボイラー設 備保守点検 業務委託	(株)セリオ	352,000	352,000	0	352,000	随契	4.11.4 ～ 5.4.30	5.4.27	(165,000)	ボイラー設備保守点検 N2基	R4長期 随契 1号 (少額)
										187,000		
11	ボイラー設 備保守点検 業務委託	(株)セリオ	368,500	368,500	0	368,500	随契	5.11.1 ～ 6.4.30	6.1.24	171,600	ボイラー設備保守点検 N2基	R5長期 随契 1号 (少額)
小計										2,861,650		

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
12	庁舎清掃及び建築物環境衛生管理業務委託	静岡ビル保善(株)	5,787,980	5,786,000	0	5,786,000	一般	5.4.1 ～ 6.3.31	5.5.31 5.6.30 5.7.31 5.8.31 5.9.29 5.10.31 5.11.30 5.12.25 6.1.31 6.2.28 6.3.29 6.4.30 小計	319,550 281,490 756,910 466,400 1,283,920 281,050 327,360 273,240 490,050 242,990 773,740 289,300 5,786,000	図書館内の 日常清掃・空気環境測定 害虫駆除・水質検査 A 8,816.64㎡	
13	消防用設備等保守管理業務委託	(株)弥生設備商会	605,000	495,000	0	495,000	随契	5.4.1 ～ 6.3.31	5.7.31 6.1.24 小計	275,000 220,000 495,000	消防用設備保守点検 機器点検1回 機器点検+総合点検1回	随契 1号 (少額)
14	可燃物収集運搬処分等業務委託	(株)静岡清掃企業	812,460	812,460	0	812,460	随契	5.4.1 ～ 6.3.31	5.5.31 5.6.30 5.7.31 5.8.31 5.9.29 5.11.2 5.11.30 5.12.27 6.1.31 6.2.28 6.3.29 6.4.30 小計	64,020 58,685 69,355 64,020 64,020 96,800 64,020 58,685 64,020 58,685 53,350 96,800 812,460	可燃物収集運搬 毎週月・水・金曜日 (12/29～1/3を除く) 不燃物(ビン・カン)収集 運搬 年2回	随契 1号 (少額)
15	自家用電気工作物保安管理業務委託	(一財)中部電気保安協会清水営業所	476,520	476,520	0	476,520	随契	5.4.1 ～ 6.3.31	5.5.11	476,520	電気工作物保安管理 月次点検年5回 年次点検年1回	随契 1号 (少額)
16	エレベーター保守点検業務委託	(株)日立ビルシステム中部支社	818,400	818,400	0	818,400	随契	5.4.1 ～ 6.3.31	5.7.31 5.10.31 6.1.31 6.4.30 小計	204,600 204,600 204,600 204,600 818,400	エレベーター保守管理 N2基	随契 1号 (少額)
17	産業廃棄物解体搬出収集運搬及び処分	(株)荒井産業	300,850	300,850	0	300,850	随契	5.12.5 ～ 6.2.29	6.1.31	300,850	産業廃棄物解体搬出収集運搬及び処分	随契 1号 (少額)
18	産業廃棄物収集運搬処分	(株)荒井産業	96,800	96,800	0	96,800	随契	5.8.28 ～ 5.10.31	5.9.29	96,800	産業廃棄物収集運搬処分	随契 1号 (少額)
19	産業廃棄物収集運搬処分	(株)荒井産業	96,800	92,950	0	92,950	随契	6.1.17 ～ 6.1.29	6.2.29	92,950	産業廃棄物収集運搬処分	随契 1号 (少額)
20	産業廃棄物収集運搬処分	(株)ホクセイ	37,796	37,796	0	37,796	随契	6.2.1 ～ 6.3.4	6.3.29	37,796	産業廃棄物収集運搬処分	随契 1号 (少額)
21	産業廃棄物解体搬出収集運搬処分業務委託	オーツービジネス(株)	404,250	404,250	0	404,250	随契	6.1.11 ～ 6.2.29	6.3.29	404,250	産業廃棄物解体搬出収集運搬処分	随契 1号 (少額)
22	デジタルライブラリーデータベース一括登録作業業務	NECソリューションイノベータ(株)	1,683,000	1,683,000	0	1,683,000	随契	5.8.1 ～ 5.11.17	5.12.27	1,683,000	デジタル化した地域資料のデジタルライブラリーシステムへの一括登録	随契 2号 (不適)
23	静岡県立中央図書館貴重資料運搬のための外装作成作業委託	(株)資料保存器材	4,178,620	4,067,734	102,469	4,170,203	一般	5.9.1 ～ 6.3.29	6.1.18	4,170,203	貴重資料運搬のための外装作成作業	
	小計									15,174,229		

委託料に関する調

(令和6年度)
(令和7年2月28日)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 庁舎等警備業務委託	(株)全日警静岡支社	円 4,257,000	円 2,640,000	円 0	円 2,640,000	一般	2.4.1 ～ 7.3.31	6.5.31 6.6.28 6.7.31 6.8.30 6.9.30 6.10.31 6.11.29 6.12.26 7.1.31 7.2.28 小計	円 (2,112,000) 44,000 44,000 44,000 44,000 44,000 44,000 44,000 44,000 44,000 44,000 44,000 44,000 44,000 44,000 440,000	機械警備	R2長期
2	空調設備保守点検業務委託	菱和設備㈱	3,070,100	1,760,000	0	1,760,000	一般	5.5.1 ～ 6.4.30	6.5.27	(1,626,240) 133,760	図書館内空調設備保守点検	R5長期
3	空調設備保守点検業務委託	菱和設備㈱	3,388,000	1,485,000	0	1,485,000	一般	6.5.1 ～ 7.4.30	6.7.9 6.7.31 6.8.30 6.10.31 6.10.31 6.11.29 7.1.28 7.1.31 小計	391,710 23,331 23,331 222,651 23,331 219,131 283,800 23,331 1,210,616	図書館内空調設備保守点検	R6長期
4	自動扉（ブ ラウジング入口）保守点 検業務委託	中日本オート・ドア （株）	26,400	26,400	0	26,400	随契	5.10.1 ～ 6.9.30	6.7.30 6.10.24 小計	(13,200) 6,600 6,600 13,200	ブラウジング入口の自動扉保守点検 N1台	R5長期 随契 1号 （少額）
5	自動扉（ブ ラウジング入口）保守点 検業務委託	中日本オート・ドア （株）	11,000	11,000	0	11,000	随契	6.10.1 ～ 7.3.31			ブラウジング入口の自動扉保守点検 N1台	随契 1号 （少額）
6	自動扉（正 面入口等） 保守点検業務委託	ナブコシ テム(株)静 岡支店	66,000	66,000	0	66,000	随契	5.7.1 ～ 6.6.30	6.7.31 小計	(49,500) 16,500 16,500	正面入口等自動扉保守点 検 N3台	R5長期 随契 1号 （少額）
7	自動扉（正 面入口等） 保守点検業務委託	ナブコシ テム(株)静 岡支店	36,300	36,300	0	36,300	随契	6.7.1 ～ 7.3.31			正面入口等自動扉保守点 検 N3台	随契 1号 （少額）
8	旧埋文消防 設備保守点 検業務委託	(株)弥生設 備商会	95,700	95,700	0	95,700	随契	5.10.1 ～ 6.9.30	6.10.25	(56,100) 39,600	旧埋蔵文化財センターの 消防設備保守点検	R5長期 随契 1号 （少額）
9	旧埋文消防 設備保守点 検業務委託	(株)弥生設 備商会	56,100	56,100	0	56,100	随契	6.10.1 ～ 7.3.31			旧埋蔵文化財センターの 消防設備保守点検	随契 1号 （少額）
10	ボイラー設 備保守点検 業務委託	(株)セリオ	368,500	368,500	0	368,500	随契	5.11.1 ～ 6.4.30	6.5.21	(171,600) 196,900	ボイラー設備保守点検 N2基	R5長期 随契 1号 （少額）
11	ボイラー設 備保守点検 業務委託	(株)セリオ	407,000	407,000	0	407,000	随契	6.11.1 ～ 7.4.30	6.11.29	187,000	ボイラー設備保守点検 N2基	R6長期 随契 1号 （少額）
12	デジタル フィルムス ケキナー 保守点検	(株)ムサ シ	521,033	521,033	0	521,033	随契	6.11.1 ～ 7.3.31			デジタルフィルムスキャ ナー保守点検2台	R6長期 随契 1号 （少額）
	小計									2,237,576		

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
13	庁舎清掃及び建築物環境衛生管理業務委託	静岡ビル保善(株)	5,976,410	5,962,000	0	5,962,000	一般	6.4.1 ～ 7.3.31	6.5.31 326,920 6.6.28 297,220 6.7.31 790,020 6.8.30 473,220 6.9.30 1,072,280 6.10.31 565,620 6.11.29 334,620 6.12.26 281,820 7.1.31 499,620 7.2.28 247,720 小計 4,889,060	図書館内の 日常清掃・空気環境測定 害虫駆除・水質検査 A 8,816.64㎡		
14	消防用設備等保守管理業務委託	(株)弥生設備商会	663,080	553,080	0	553,080	随契	6.4.1 ～ 7.3.31	6.7.31 333,080 7.1.31 220,000 小計 553,080	消防用設備保守点検 機器点検1回 機器点検+総合点検1回	随契 1号 (少額)	
15	可燃物収集運搬処分等業務委託	(株)静岡清掃企業	999,636	909,040	0	909,040	随契	6.4.1 ～ 7.3.31	6.5.31 71,280 6.6.28 71,280 6.7.31 71,280 6.8.31 77,220 6.9.30 71,280 6.10.31 98,120 6.11.29 71,280 6.12.26 65,340 7.1.31 71,280 7.2.28 65,340 小計 733,700	可燃物収集運搬 毎週月・水・金曜日 (12/29～1/3を除く) 不燃物(ビン・カン)収 集運搬 年2回	随契 1号 (少額)	
16	自家用電気工作物保安管理業務委託	(一財)中部電気保安協会清水営業所	476,520	476,520	0	476,520	随契	6.4.1 ～ 7.3.31	6.4.30 476,520	電気工作物保安管理 月次点検年5回 年次点検年1回	随契 1号 (少額)	
17	エレベーター保守点検業務委託	(株)日立ビルシステム中部支社	818,400	818,400	0	818,400	随契	6.4.1 ～ 7.3.31	6.7.31 204,600 6.10.31 204,600 7.1.31 204,600 小計 613,800	エレベーター保守管理 N2基	随契 1号 (少額)	
18	PDF収集システム開発業務委託	(株)ジオロケーションテクノロジー	733,920	733,920	0	733,920	随契	6.4.1 ～ 7.3.31	6.5.31 61,160 6.6.28 61,160 6.7.31 61,160 6.8.30 61,160 6.9.30 61,160 6.10.31 61,160 6.11.29 61,160 6.12.26 61,160 7.1.31 61,160 7.2.28 61,160 小計 611,600	PDF収集システム開発	随契 1号 (少額)	
19	デジタルライブラリーデータ一括登録作業業務	NECソリューションイノベータ(株)	1,518,000	1,518,000	0	1,518,000	随契	6.8.1 ～ 6.11.17	6.12.26 1,518,000	デジタル化した地域資料のデジタルライブラリーシステムへの一括登録	随契 2号 (不適)	
20	貴重書庫及び収蔵庫燻蒸業務委託	イカリ消毒株式会社静岡営業所	361,350	209,000	0	209,000	随契	6.11.15 ～ 6.12.27	7.2.28 209,000	貴重書庫及び収蔵庫燻蒸業務	随契 1号 (少額)	
	小計								9,604,760			

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の内容	摘要
				当初額	変 更 増減額	計						
21	図書等資料 移動業務委託	(株) サカイ引越センター	890,450	880,000	0	880,000	随契	6.12.2 ～ 7.1.31	7.2.21	880,000	図書資料移動業務	随契 1号 (少額)
22	デジタル化 事業業務委託	(株)工業複 写センター	画像スキャン 77円/ショット ファイル変換費 27.5円/ショット 画像接合費 275円/件 メディア作成 22円/件 媒体費用 110,000円 マイクロ撮 影 165円/コマ	画像スキャン 74.8円/ショット ファイル変換費 27.5円/ショット 画像接合費 275円/件 メディア作成 19.8円/件 媒体費用 110,000円 マイクロ撮 影 154円/コマ	0	2,040,369	一般	6.9.13 ～ 7.2.28	7.2.28	2,040,369	貴重資料等のデジタル画 像作成	単価契 約
23	静岡県立中 央図書館貴 重資料運搬 のための外 装作成作業 委託	(株)資料 保存器材	4,844,924	4,739,350	-126,003	4,613,347	一般	6.10.3 ～ 7.2.28			貴重資料運搬のための外装 作成作業	
24	マイクロ フィルム劣 化防止措置 業務委託	(株)工業複 写センター	1,822,260	1,815,000		1,815,000	一般	7.2.7 ～ 7.3.28			マイクロフィルムの劣化防 止作業	
25	産業廃棄物 収集運搬処 分	(株)ホク セイ	31,196	31,196	0	31,196	随契	7.1.29 ～ 7.3.28			産業廃棄物収集運搬処分	随契 1号 (少額)
26	建築基準法 第12条に基 づく定期点 検業務委託	(株)大瀧建 築事務所	451,000	451,000	0	451,000	随契	6.10.1 ～ 6.12.27	6.12.26	451,000	建築基準法第12条にかか る定期点検	随契 1号 (少額)
27	建築基準法 第12条に基 づく定期点 検業務委託 (防火)	(株)弥生設 備商会	92,400	92,400	0	92,400	随契	6.12.19 ～ 7.2.28			建築基準法第12条にかか る定期点検 (防火設備)	随契 1号 (少額)
	小 計									3,371,369		
	合 計	27件								15,213,705		
参考 1	静岡県立美術 館及び静岡県 立中央図書館 における設備 運転及び庁舎 等警備業務委託	(株)セリオ		108,636,000	0	108,636,000	一般	6.4.1 ～ 7.3.31			静岡県立美術館	
参考 2	静岡県立美 術館園地管 理業務委託	不二見造園 土木 (株)		19,668,000	0	19,668,000	一般	6.4.1 ～ 7.3.31			静岡県立美術館	

負担金支出調

(令和5年度)

整理 番号	負担金名	交付先	負担 根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	日本図書館協会会費	(公社)日本図書館協会	定款	全国図書館の調査研究、職員教育と各機関の情報交換	円 50,000	6.5.15
2	静岡県図書館協会会費	静岡県図書館協会	会則	県内図書館事業の研究、職員研修と各機関の情報交換	200,000	5.5.25
3	中堅職員ステップアップ研修(2)受講料	(公社)日本図書館協会	要項	高度かつ専門的な図書館の知識や技術の向上を図る	84,000	5.6.15
4	関東地区公共図書館協議会事業負担金	関東地区公共図書館協議会	規約	関東地区図書館事業の研究、職員研修と情報交換	34,000	5.6.21
5	全国公共図書館協議会分担金	全国公共図書館協議会	規約	全国公共図書館の相互連絡及び調査研究、情報交換	36,000	5.7.28
6	中堅職員ステップアップ研修(1)受講料	(公社)日本図書館協会	要項	高度かつ専門的な図書館の知識や技術の向上を図る	20,000	5.9.12
7	多文化共生サポーター養成講座受講料	静岡市長	要項	高度かつ専門的な図書館の知識や技術の向上を図る	3,000	5.9.15
8	全国図書館大会岩手大会参加費	全国図書館大会岩手大会実行委員会	要項	各種図書館事業の課題研究と情報交換	7,000	5.10.25
9	水道施設管理業務負担金	静岡県公立大学法人	覚書	水道施設の維持管理	53,680	6.4.26
	計	9件			487,680	

負担金支出調

(令和6年度)

(令和7年2月28日現在)

整理 番号	負担金名	交付先	負担 根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	日本図書館協会会費	(公社)日本図書館協会	定款	全国図書館の調査研究、職員教育と各機関の情報交換	円 50,000	6. 5. 15
2	障害者サービス担当職員養成講座(入門)の参加費	(公社)日本図書館協会	要項	高度かつ専門的な図書館の知識や技術の向上を図る	5,000	6. 5. 31
3	中堅職員ステップアップ研修(2)受講料	(公社)日本図書館協会	要項	高度かつ専門的な図書館の知識や技術の向上を図る	84,000	6. 6. 7
4	静岡県図書館協会会費	静岡県図書館協会	会則	県内図書館事業の研究、職員研修と各機関の情報交換	200,000	6. 6. 7
5	むすびめの会入会金、年会費	むすびめの会	会則	高度かつ専門的な図書館の知識や技術の向上を図る	3,000	6. 7. 16
6	第二種衛生管理者受験準備講習会受講料	静岡県労働基準協会連合会	要項	衛生管理に関する講習	13,400	6. 7. 22
7	全国公共図書館協議会分担金	全国公共図書館協議会	規約	全国公共図書館の相互連絡及び調査研究、情報交換	36,000	6. 7. 31
8	関東地区公共図書館協議会事業負担金	関東地区公共図書館協議会	規約	関東地区図書館事業の研究、職員研修と情報交換	34,000	6. 9. 6
9	全国図書館大会長崎大会参加費	全国図書館大会長崎大会実行委員会	要項	各種図書館事業の課題研究と情報交換	16,000	6. 10. 30
10	小牧市中央図書館行政視察費	小牧市中央図書館	要項	各種図書館事業の課題研究と情報交換	3,000	7. 1. 14
	計	10件	/	/	444,400	/

建 築 工

整理 番号	予算科目	工事名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当初額	変更増減額
1	図書館費	静岡県立中央図書館インフォメーション棟屋上明かり取りドーム修繕工事	静岡市駿河区谷田地内	円 550,000	円 495,000	円 0
		合 計	1 件	550,000	495,000	0

令和6年度「該当なし」

事 調

(令 和 5 年 度)

額	契約 締結 方法	受注者	着 手 完 成 年 月 日	支出済額	工事概要	公有 財産 台帳	摘 要
計							
円 495,000	随契	株式会社 建装	R5. 11. 8 ～ R5. 12. 27	円 495,000	インフォメーション棟 屋上明かり取りドーム 取替及び防水塗装	—	令 達 年 月 日 令和5年4月1日 最 終 支 払 年 月 日 令和6年1月26日 随 契 1 号 (少 額)
495,000				495,000			

公 有 財 産 調

(令和5年度)

区分	令和5年3月31日 現 在		増		減		令和6年3月31日 現 在		摘要
	数量又は面積	台帳 価 格	数量又は面積	台帳 価 格	数量又は面積	台帳 価 格	数量又は面積	台帳 価 格	
行政財産	/	千円 17,544,886	/	千円	/	千円 4,922	/	千円 17,539,964	
土地	m ² 143,583.14	17,328,434					m ² 143,583.14	17,328,434	
立木竹	本 5,615	177,024					本 5,615	177,024	
建物	m ² <u>4,871.26</u> 11,583.21	13,113				1,107	m ² <u>4,871.26</u> 11,583.21	12,006	
工作物	個 93	26,315				3,815	個 93	22,500	
特許権等	個 2	0					個 2	0	
公有財産に 準ずるもの	/	239	/		/		/	239	
電 話 加入権	件 7	239					件 7	239	

公 有 財 産 調

(令和6年度)

(令和7年2月28日現在)

区分	令和6年3月31日 現 在		増		減		令和7年2月28日 現 在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産	/	千円 17,539,964	/	千円	/	千円	/	千円 17,539,964	
土地	m ² 143,583.14	17,328,434					m ² 143,583.14	17,328,434	
立木竹	本 5,615	177,024					本 5,615	177,024	
建物	m ² <u>4,871.26</u> 11,583.21	12,006					m ² <u>4,871.26</u> 11,583.21	12,006	
工作物	個 93	22,500					個 93	22,500	
特許権等	個 2	0					個 2	0	
公有財産に 準ずるもの	/	239	/		/		/	239	
電話 加入権	件 7	239					件 7	239	

借地借家等調

(令和7年2月28日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又 は面積	借 料		契 約 期 間	所有者又 は契約者 氏 名	用 途
				台 帳	現 況		単 価	年 額			
1	土地	敷地	清水区 草 薙 1-17-4	—	—	0.81 m ²	円	円 無償	5.4.1 ～ 15.3.31	静岡市長	図書館 案内看板 設置
2	建物	事務所建	駿河区 東静岡 2-3-1	S R C	地上12階 地下3階	0.40 m ²		無償	3.4.1 ～ 9.3.31	文化政策 課長	図書返却 ボックス 設置
3	土地	敷地	葵 区 追手町 4-16	—	—	1.80 m ²		無償	5.4.1 ～ 7.3.31	静岡市長	葵文庫跡 記念碑 設置
4	—	—	駿河区 谷田 1719 地先	—	—	3.45m		無償	31.4.1 ～ 11.3.31	静岡県知事	排水施設 設置
	計							0			

事務機器等の債務負担行為

区分	事業名又は契約名	内容	契約額
債務負担行為	総合電算管理システム賃貸借契約	館内書誌データ管理、HP運営等システム賃貸借 (契約日) 1.10.28	90,248,400
	総合電算管理システム機器賃貸借契約	パソコン、プリンタ等賃貸借 (契約日) 2.1.20	40,392,000
	総合電算管理システム賃貸借契約	館内書誌データ管理、HP運営等システム賃貸借 (契約日) 5.4.14	34,615,350
	総合電算管理システム機器賃貸借契約	パソコン、プリンタ等賃貸借 (契約日) 5.4.14	10,832,745
	総合電算管理システム賃貸借契約	館内書誌データ管理、HP運営等システム賃貸借 (契約日) 6.6.13	132,276,100
	総合電算管理システム機器賃貸借契約	パソコン、プリンタ等賃貸借 (契約日) 6.7.12	80,749,240
長期継続契約	電子複写機賃貸借及び使用契約	電子複写機 1 台 (契約日) 1.10.1	844,800
	印刷機賃貸借契約	電子複写機 1 台 (契約日) 2.4.1	3,329,370
	印刷機賃貸借契約	電子複写機 1 台 (契約日) 7.2.20	4,613,400
	デジタルフィルムスキャナー賃貸借契約	デジタルフィルムスキャナー他周辺機器 2 台 (契約日) 6.4.1	4,804,481
	庁舎等警備業務委託	図書館機械警備 (契約日) 2.4.1	2,640,000
	空調設備保守点検業務委託	図書館空調設備保守 (契約日) 5.4.26	1,760,000
	空調設備保守点検業務委託	図書館空調設備保守 (契約日) 6.5.1	1,485,000
	自動扉（ブラウジング入口）保守点検業務委託	自動扉 1 基保守点検 (契約日) 5.9.29	26,400
	自動扉（正面入口等）保守点検業務委託	自動扉 3 基保守点検 (契約日) 5.6.16	66,000
	旧埋文消防設備保守点検業務委託	消防設備保守点検 (契約日) 5.9.29	95,700
	ボイラー設備保守点検業務委託	ボイラー保守点検 (契約日) 5.11.1	368,500
	ボイラー設備保守点検業務委託	ボイラー保守点検 (契約日) 6.10.16	407,000
デジタルフィルムスキャナー保守点検業務委託	デジタルフィルムスキャナー保守点検 (契約日) 6.10.31	521,033	

又は長期継続契約に係る調

(令和6年度)
(令和7年2月28日現在)

(契約額の年度別内訳)										
元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
	27,575,900	30,082,800	30,082,800	2,506,900						
	12,342,000	13,464,000	13,464,000	1,122,000						
-				18,131,850	16,483,500					
-				5,674,295	5,158,450					
-					6,961,900	41,771,400	41,771,400	41,771,400		
-					4,249,960	25,499,760	25,499,760	25,499,760		
84,480	168,960	168,960	168,960	168,960	84,480					
-	677,160	677,160	677,160	677,160	620,730					
-					76,890	922,680	922,680	922,680	922,680	845,790
-					1,124,453	1,226,676	1,226,676	1,226,676		
-	528,000	528,000	528,000	528,000	528,000					
-	-	-	-	1,626,240	133,760					
-	-	-	-		1,372,019	112,981				
-	-	-	-	13,200	13,200					
-	-	-	-	49,500	16,500					
-	-	-	-	56,100	39,600					
-	-	-	-	171,600	196,900					
-	-	-	-		187,000	220,000				
-	-	-	-		89,833	215,600	215,600			

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年2月28日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量又 は面積	貸付料又は 使用料		貸付又は 使用許可 期間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸付・ 使用許 可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	建物	事務所建	静岡市 駿河区 谷田 53-1	RC	地上3階 地下1階	2.00 m ²		円 5,730	6.4.1 ～ 7.3.31	(一社)静岡県肢 体不自由児者父 母の会連合会長	飲料水自動 販売機設置
2	土地	敷地	静岡市 駿河区 谷田 53-1	畑	学校 用地	325m		29,250	2.4.1 ～ 7.3.31	静岡ガス株 導管ネットワ ーク事業部静岡導管ネッ トワークセンター長	都市ガス供給
3	土地	敷地	静岡市 駿河区 谷田 53-1	畑	学校 用地	1.07 m ²		免除	2.4.1 ～ 7.3.31	静岡市駿河区 谷田自治会長	防犯灯設置
4	土地	敷地	静岡市 駿河区 谷田 53-1	畑	学校 用地	電柱4本 支線6条	1,500	15,000	2.4.1 ～ 7.3.31	中部電力パワ ーグリッド(株) 清水営業所 配 電グループ長	電力供給
5	土地	敷地	静岡市 駿河区 谷田 53-1	畑	学校 用地	1.00 m ²		2,690	6.4.1 ～ 7.1.31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	公衆電話室 用地
6	土地	敷地	静岡市 駿河区 谷田 53-1	畑	学校 用地	1.00 m ²		免除	6.4.1 ～ 9.3.31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	公衆電話室 用地
7	土地	敷地	静岡市 駿河区 谷田 53-1	畑	学校 用地	電柱15本 支線12条 変圧機1本 支柱3本	1,500	46,500	2.4.1 ～ 7.3.31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	電気通信 線路設備
8	建物	事務所建	静岡市 駿河区 谷田 53-1	RC	地上3階 地下1階	1.64 m ²		4,700	6.4.1 ～ 7.3.31	(株)NTTドコモ 常務執行役員 関西支社長	屋内用携帯電 話基地局設置
9	土地	敷地	静岡市 駿河区 谷田 53-1	畑	学校 用地	0.30 m ²		800	6.4.1 ～ 7.3.31	日本郵便(株) 静岡南郵便局長	郵便差出箱 設置
10	建物	事務所建	静岡市 駿河区 谷田 53-1	RC	地上 3階 地下 1階	0.91 m ²		2,600	6.4.1 ～ 7.3.31	静岡県読書推進 運動協議会長	資料の 複写サービス

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年2月28日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量又 は面積	貸付料又は 使用料		貸付又は 使用許可 期 間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸付・ 使用許 可目的
				台帳	現況		単価	年額			
11	土地	敷地	静岡市 駿河区 谷田 53-1	畑	道路	430.39 m ²		免除	2.4.1 ～ 7.3.31	静岡市長	道路
12	土地	敷地	静岡市 駿河区 谷田 53-1	畑	学校 用地	15.93 m ²		免除	2.4.1 ～ 7.3.31	静岡市長	防災倉庫設置
13	建物	事務所建	静岡市 駿河区 谷田 53-1	RC	地上3階 地下1階	3.30 m ²		免除	6.4.1 ～ 9.3.31	静岡県 図書館協会 会長	事務職員用 机・椅子設置
14	土地	敷地	静岡市 駿河区 谷田 53-1	畑	学校 用地	1,530.68 m ²		免除	3.4.1 ～ 8.3.31	静岡市長	道路 (谷田1号線)
15	土地	敷地	静岡市 駿河区 谷田 53-1	畑	学校 用地	2.06 m ²		免除	6.4.1 ～ 7.3.31	しずてつ ジャストライン(株) 取締役社長	バス停留所標 識・案内板・ ベンチ設置
16	建物	事務所建	静岡市 駿河区 谷田 53-1	RC	地上3階 地下1階	1.56 m ²		4,470	6.4.1 ～ 7.3.31	ソフトバンク(株) エリア建設本部 業務ソリューション 部長	屋内用携帯電 話基地局設置
17	土地	敷地	静岡市 駿河区 谷田 53-1	畑	学校 用地	7.98 m ²		免除	6.9.1 ～ 7.3.31	(株)東海ケーブル ネットワーク	シェアサイク ルスステーショ ン
合 計								111,740			

備品・図書調

(令和 5年度)

区分	令和 5年 3月31日 現在	増		減		令和 6年 3月31日 現在
		数量	購入 価格 (円)	数量	売却 価格 (円)	
01-01 机類	5	(0) 0	0	(2) 2	0	3
01-02 台類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-03 いす類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-04 収納保管庫類	142	(0) 0	0	(0) 1	0	141
01-05 印刷機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-07 書類整理器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-10 印判類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-99 その他の庁用器具類	10	(0) 0	0	(0) 0	0	10
02-01 情報処理機器類	17	(3) 14	2,365,000	(0) 1	0	30
02-02 情報伝達機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
02-03 再生機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
03-01 撮影機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
03-03 視覚用再生等機器類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
03-04 媒体関連機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
06-04 電気電子機器類	0	(1) 1	0	(0) 0	0	1
08-01 車両類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
50-01 図書	935,941	(891) 28,192	66,354,947	(300) 695	0	963,438
計	936,152	(895) 28,207	68,719,947	(302) 699	0	963,660

備品・図書調

(令和 6年度)

区分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 2月28日 現在
		数量	購入 価格 (円)	数量	売却 価格 (円)	
01-01 机類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-02 台類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-03 いす類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-04 収納保管庫類	141	(0) 0	0	(0) 0	0	141
01-05 印刷機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-07 書類整理器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-10 印判類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-99 その他の庁用器具類	10	(0) 1	299, 200	(0) 0	0	11
02-01 情報処理機器類	30	(0) 0	0	(0) 0	0	30
02-02 情報伝達機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
02-03 再生機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
03-01 撮影機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
03-03 視覚用再生等機器類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
03-04 媒体関連機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
06-04 電気電子機器類	1	(1) 1	0	(0) 0	0	2
08-01 車両類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
12-01 雑機器	0	(1) 1	0	(0) 0	0	1
50-01 図書	963, 438	(1, 476) 19, 641	53, 746, 051	(5) 43	0	983, 036
計	963, 660	(1, 478) 19, 644	54, 045, 251	(5) 43	0	983, 261

主 要 備 品 調

(令和7年2月28日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	1-4	移動書庫	移動書庫 5連6段 複式移動10	毎日(年間365日) 書庫10	平成28年2月	3,345,840
2	1-4	移動書庫	移動書庫 6連6段 複式移動8	毎日(年間365日) 書庫11	平成28年2月	3,294,000
3	2-1	その他の情報処 理機器	その他の情報処理機器	来館者体温測定	令和2年5月	2,581,700
4	2-1	レーザープリン ター・スキャナ	スキャナ EPCIWN 5000	週2日(年間100日) 資料デジタル化	令和6年3月	2,365,000
5	1-5	印刷機	デジタル印刷機 リソグラフ RZ770	毎日(年間365日) 資料印刷	平成18年10月	976,500
6	50-1	第1種図書	新訂増補 国史大系 全66巻	毎日(年間365日) (歴史文化情報センター)	昭和60年12月	850,000
7	1-4	移動書庫	移動書庫 オカムラ N957AS Z13	毎日(年間365日) 書庫10	平成10年3月	829,500
8	1-5	印刷機	デジタル印刷機 リソグラフ RZ630	毎日(年間365日) 資料印刷	平成20年3月	756,000
9	1-7	製本機	製本機 丁合機 理想化学C-33	毎日(年間365日) 資料製本	平成10年3月	731,850
10	1-4	その他の収納保 管庫	ブックポスト キハラ ステンレス製	毎日(年間365日) 図書返却用	平成6年12月	618,000
11	1-4	書類収納庫	書類収納庫 複式書棚 オカムラ5連7段	毎日(年間365日) 書庫8	平成8年3月	601,950
12	1-4	書類収納庫	書類収納庫 複式書棚 オカムラ5連7段	毎日(年間365日) 書庫8	平成8年3月	601,950
13	1-4	書類収納庫	書類収納庫 複式書棚 オカムラ5連7段	毎日(年間365日) 書庫8	平成8年3月	601,950
14	1-4	書類収納庫	書類収納庫 複式書棚 オカムラ5連7段	毎日(年間365日) 書庫8	平成8年3月	601,950
15	1-4	書類収納庫	書類収納庫 複式書棚 オカムラ5連7段	毎日(年間365日) 書庫8	平成8年3月	601,950
16	1-4	書類収納庫	書類収納庫 複式書棚 オカムラ5連7段	毎日(年間365日) 書庫8	平成8年3月	601,950
17	2-3	その他の再生機 器	ディスプレイ 65型	月20回(年間240日) 展示・イベント内容の提供	平成24年3月	563,829
18	3-3	その他の映写機	プロジェクター LVP-X70	年10回 各種図書館講座に使用	平成12年3月	535,500
19	2-2	ファクシミリ	ファクシミリ デジタル複合機	毎日(年間365日) 資料転送	平成19年3月	509,850
20	3-3	その他の映写機	16ミリフィルム映写機 北辰X-310	年1回 図書館イベントで使用	昭和60年6月	476,000